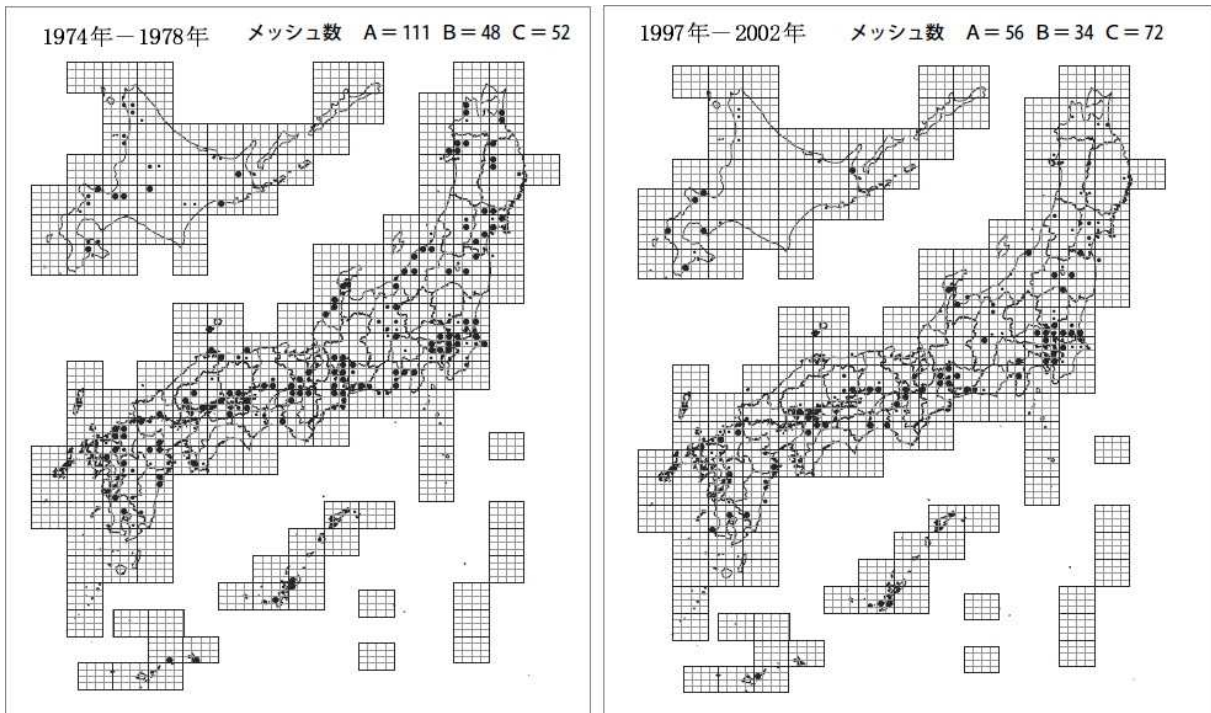


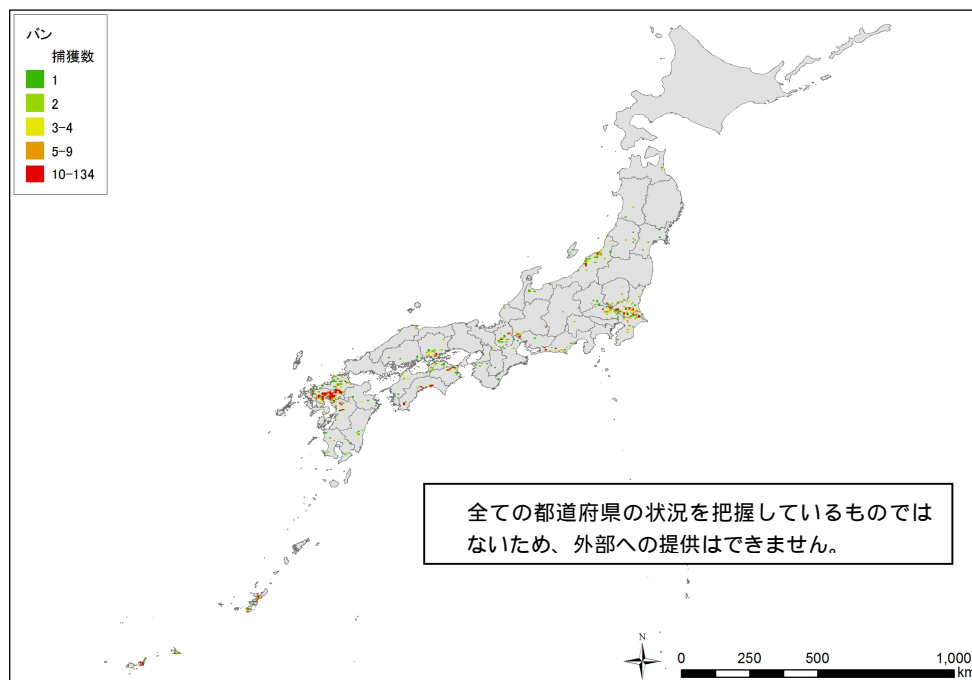
< 19 >バン (*Gallinula chloropus*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：青森県 (C)・岩手県 (D)・福島県 (C)・埼玉県 (NT)・千葉県 (B)・東京都 (区部：VU、北多摩：VU、南多摩：VU、西多摩：VU)・滋賀県 (希少種)

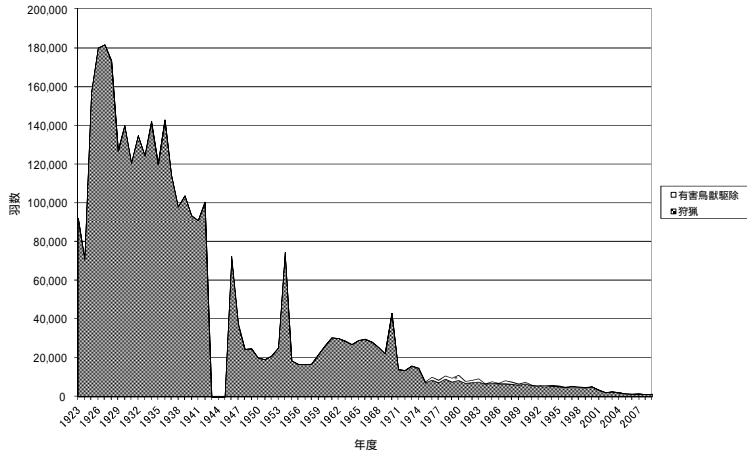
【生息状況等】北海道から南西諸島、小笠原諸島に分布、繁殖し、クイナ科の鳥類ではもっとも普通にみられる種類である。冬は暖かい地方に移動するものもいる。



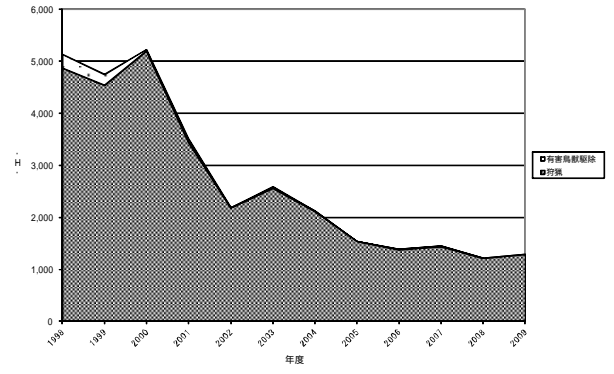
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(バン)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるバンの捕獲状況



バンの狩猟個体数と有害捕獲数の推移

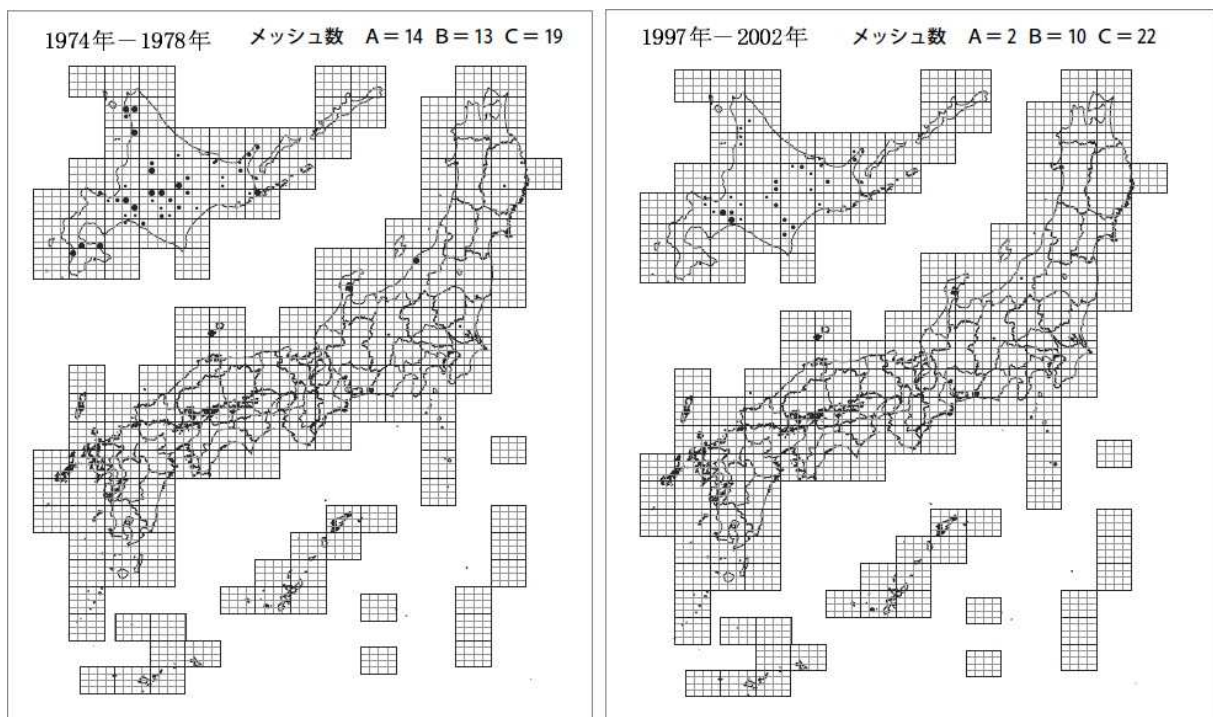


近年の推移

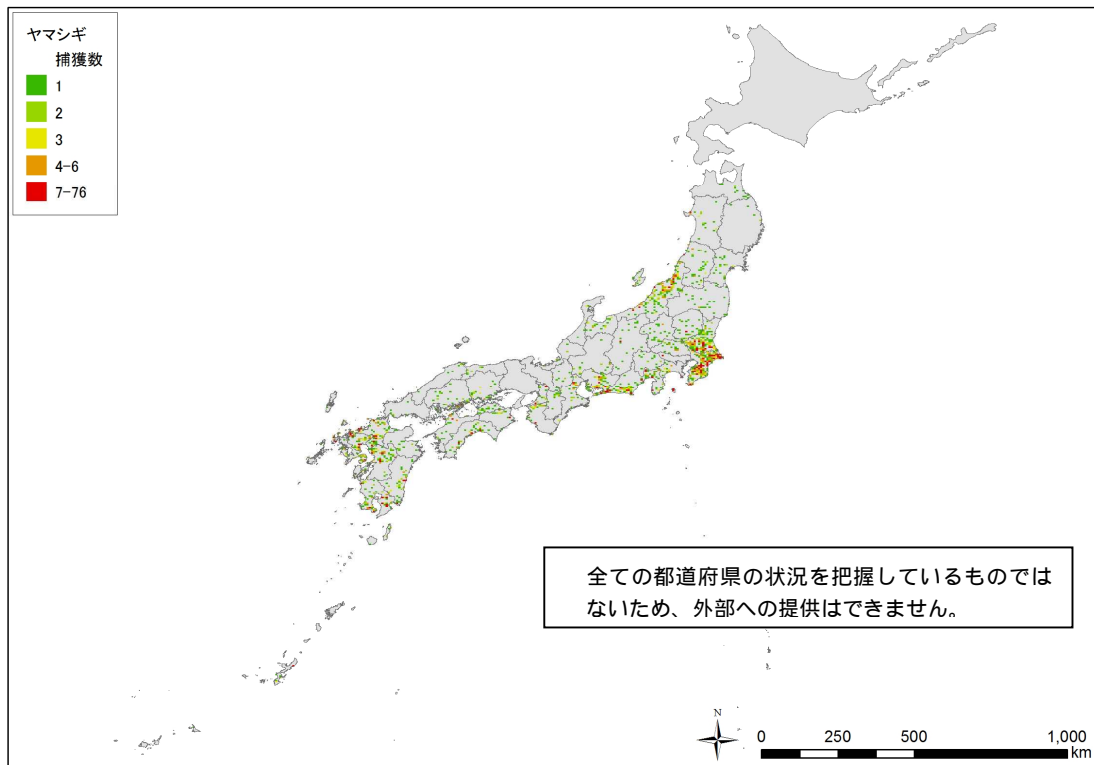
< 20 > ヤマシギ (*Scolopax rusticola*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：青森県(B)・岩手県(C)・秋田県(NT)・山形県(NT)・福島県(NE)・栃木県(C)・群馬県(DD)・埼玉県(NT)・東京都(区部：VU、北多摩：VU、南多摩：VU、西多摩：VU、伊豆：NT)・神奈川県(希少種)・石川県(NT)・福井県(県域準絶滅危惧)・山梨県(DD)・長野県(DD)・静岡県(DD)・愛知県(NT)・滋賀県(希少種)・京都府(絶滅危惧種)・大阪府(準絶滅危惧)・兵庫県(B)・奈良県(希少種)・和歌山県(絶滅危惧 B類)・山口県(NT)・徳島県(準絶滅危惧)・高知県(NT)・長崎県(NT)

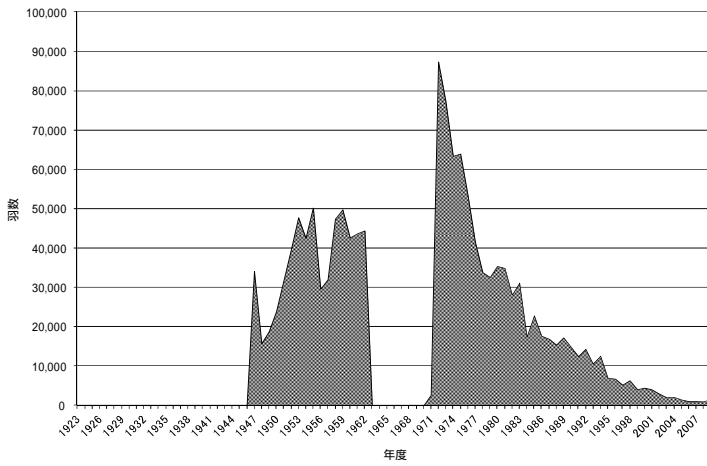
【生息状況等】北海道から本州中部にかけてと、伊豆諸島などで繁殖記録がある。東北地方南部から四国、九州、沖縄にかけての各地で越冬。



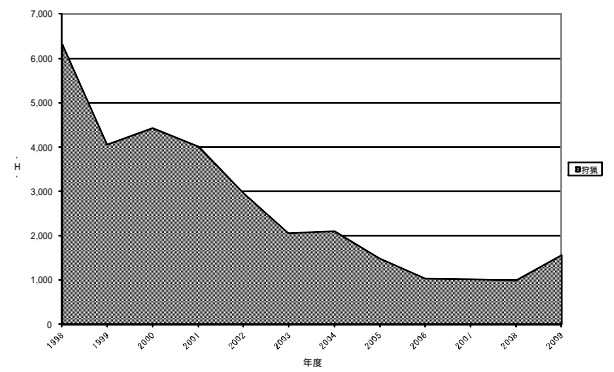
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(ヤマシギ)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるヤマシギの捕獲状況



ヤマシギの狩猟個体数の推移

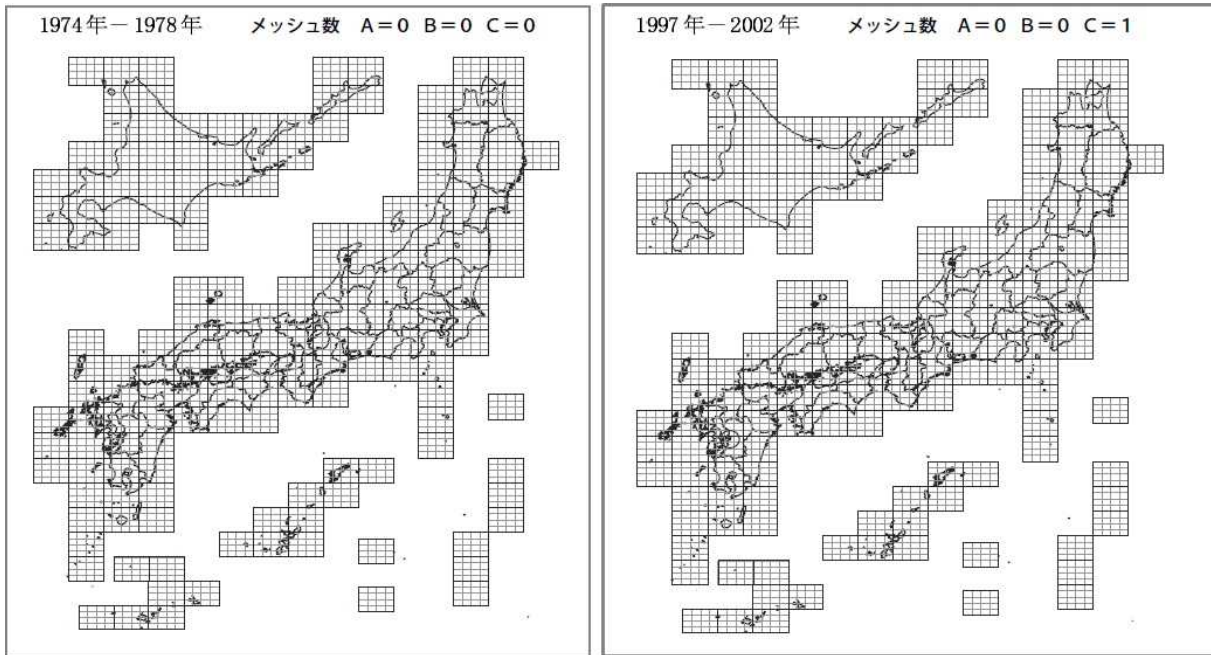


近年の推移

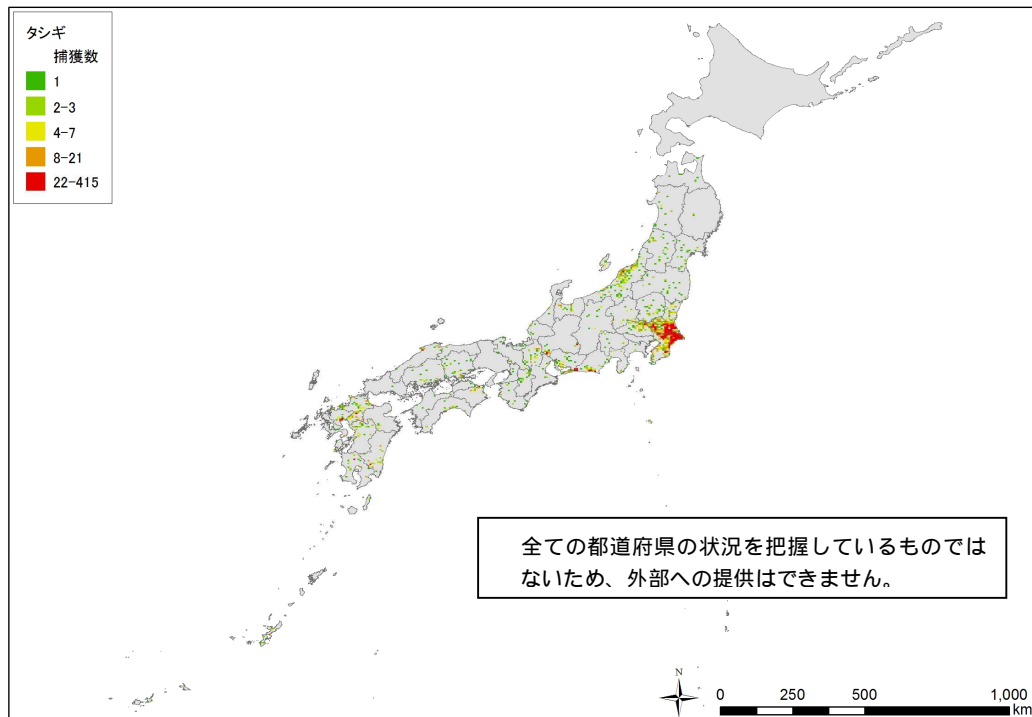
< 2 1 > タシギ (*Gallinago gallinago*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：東京都（区部：VU、北多摩：VU、南多摩：VU、西多摩：VU）・神奈川県（注目種）・滋賀県（希少種）・大阪府（準絶滅危惧）・兵庫県（B）・奈良県（希少種）

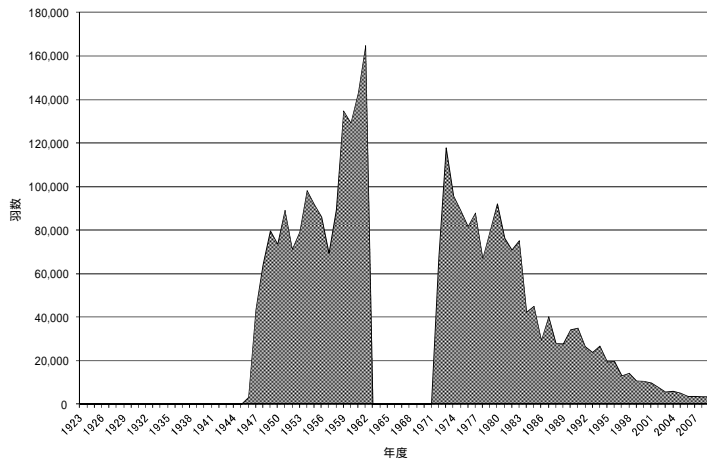
【生息状況等】旅鳥または冬鳥として渡来し、琉球諸島、小笠原諸島などの離島を含め広く分布。



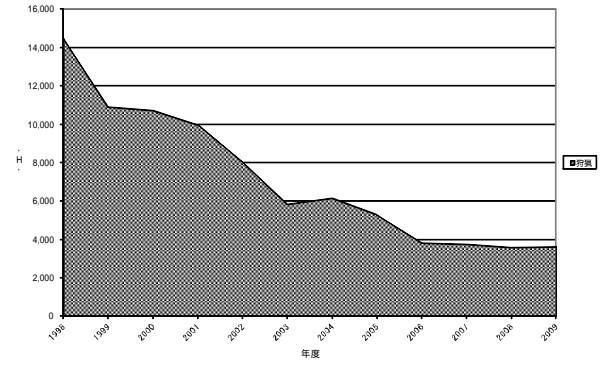
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(タシギ)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるタシギの捕獲状況



タンギの狩猟個体数の推移

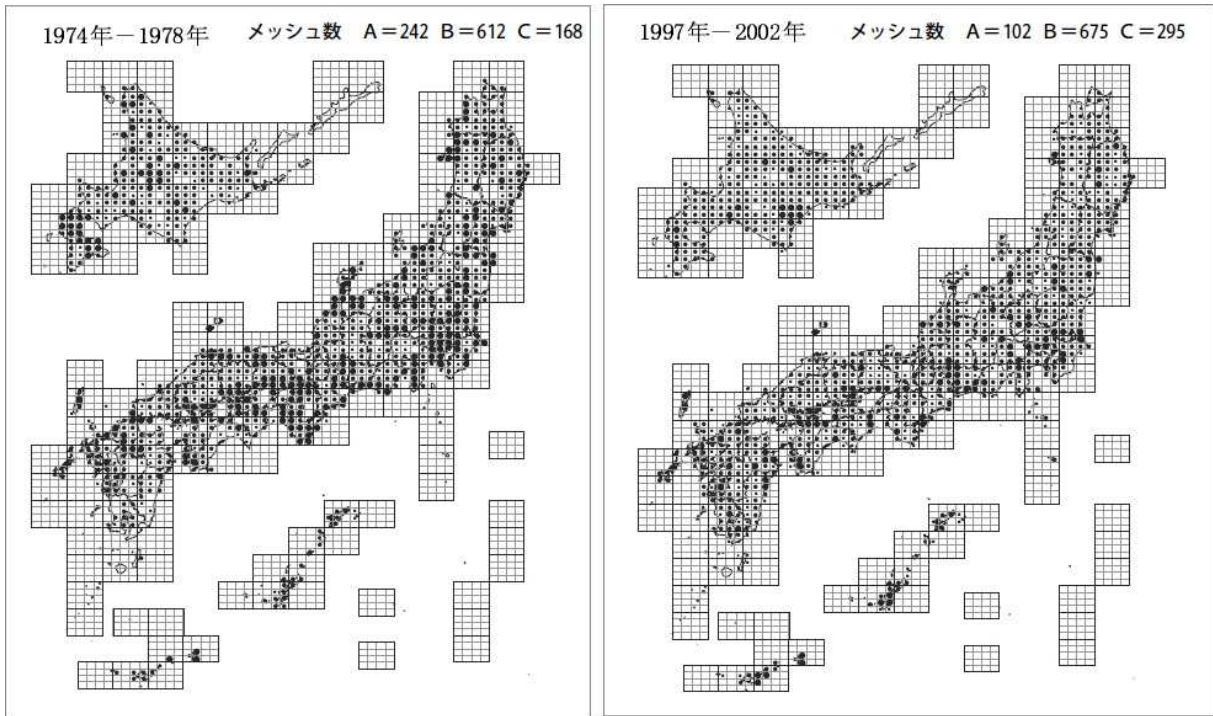


近年の推移

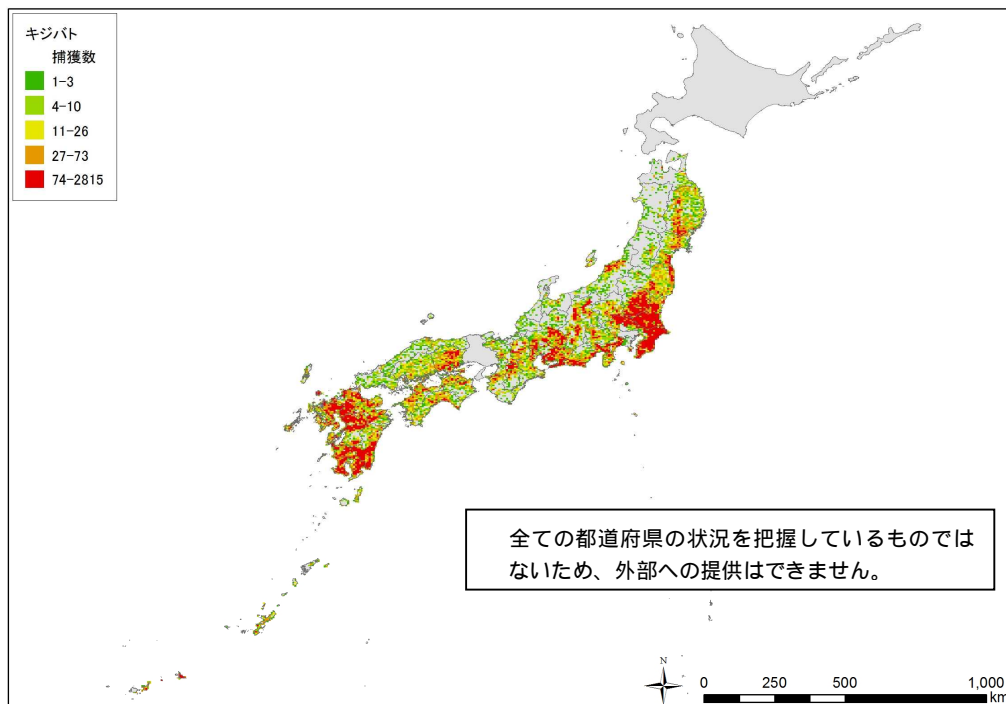
< 2 2 > キジバト (*Streptopelia orientalis*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県： -

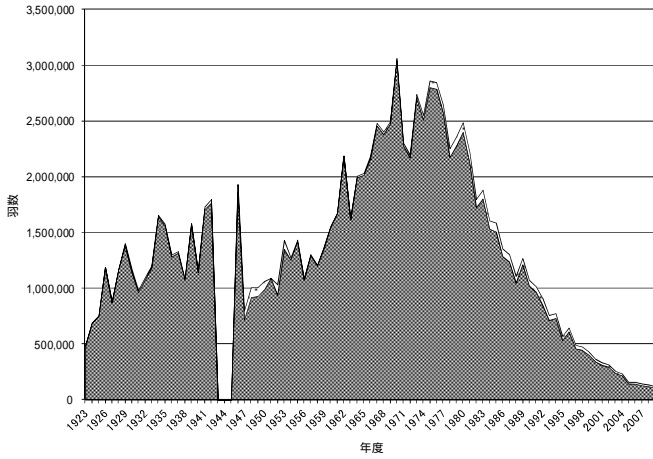
【生息状況等】全国に生息するが、北海道のものは冬季には本州に渡る。南西諸島の奄美大島から与那国島で繁殖するものはリュウキュウキジバト *S.o.stimpsoni* で、国内で繁殖するキジバトとは別亜種。



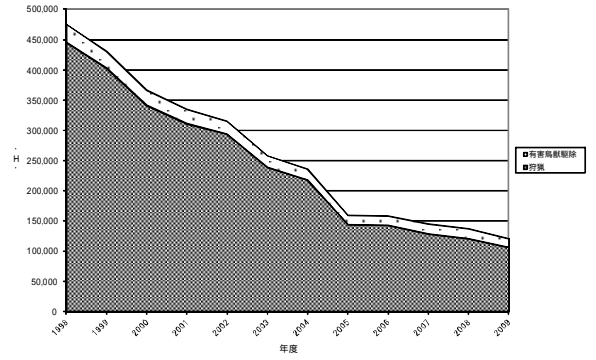
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(キジバト)



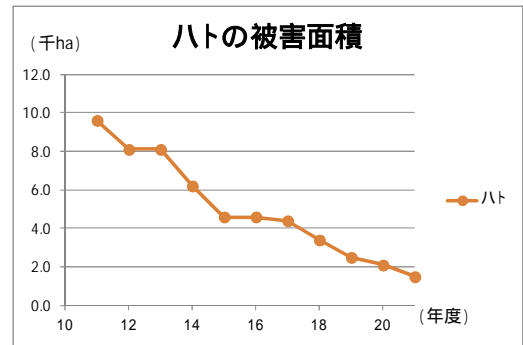
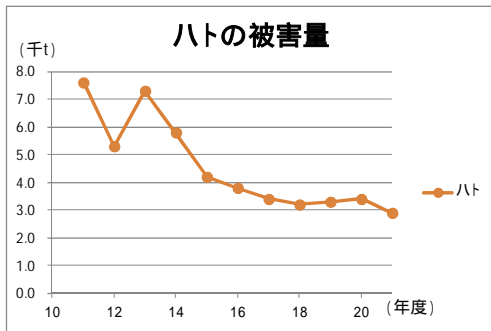
野生鳥獣情報システム(WIS)によるキジバトの捕獲状況



キジバトの狩猟個体数と有害捕獲数の推移



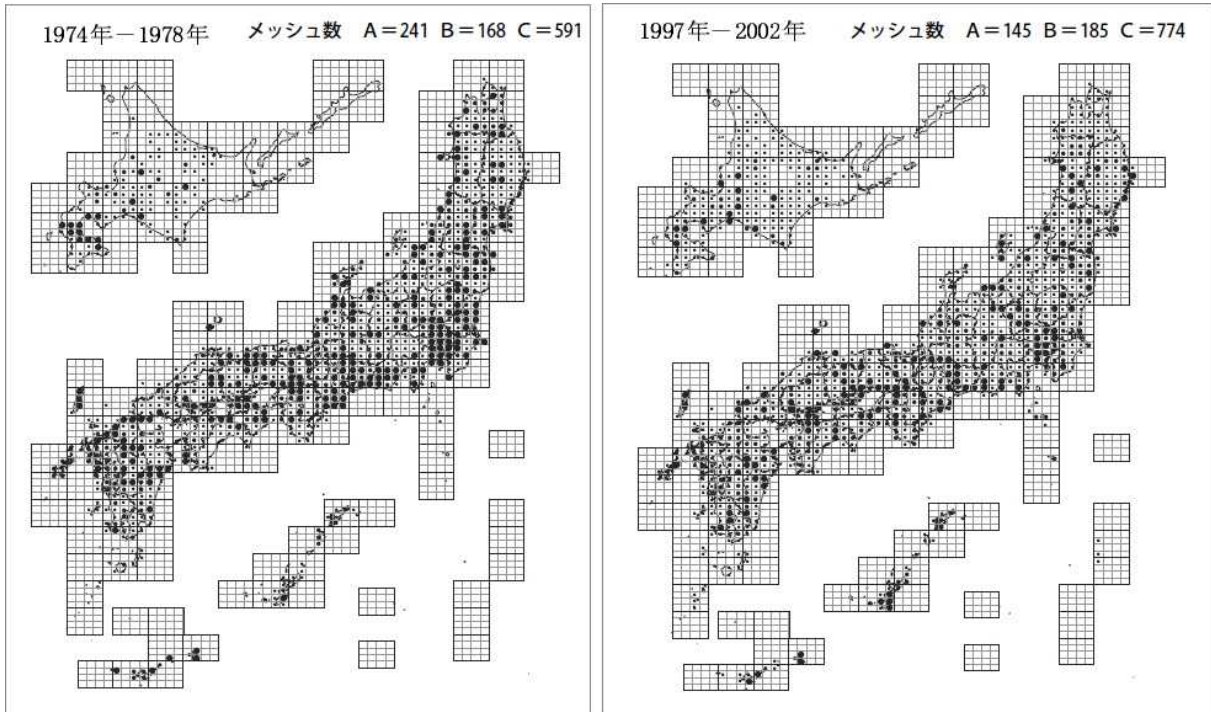
近年の推移



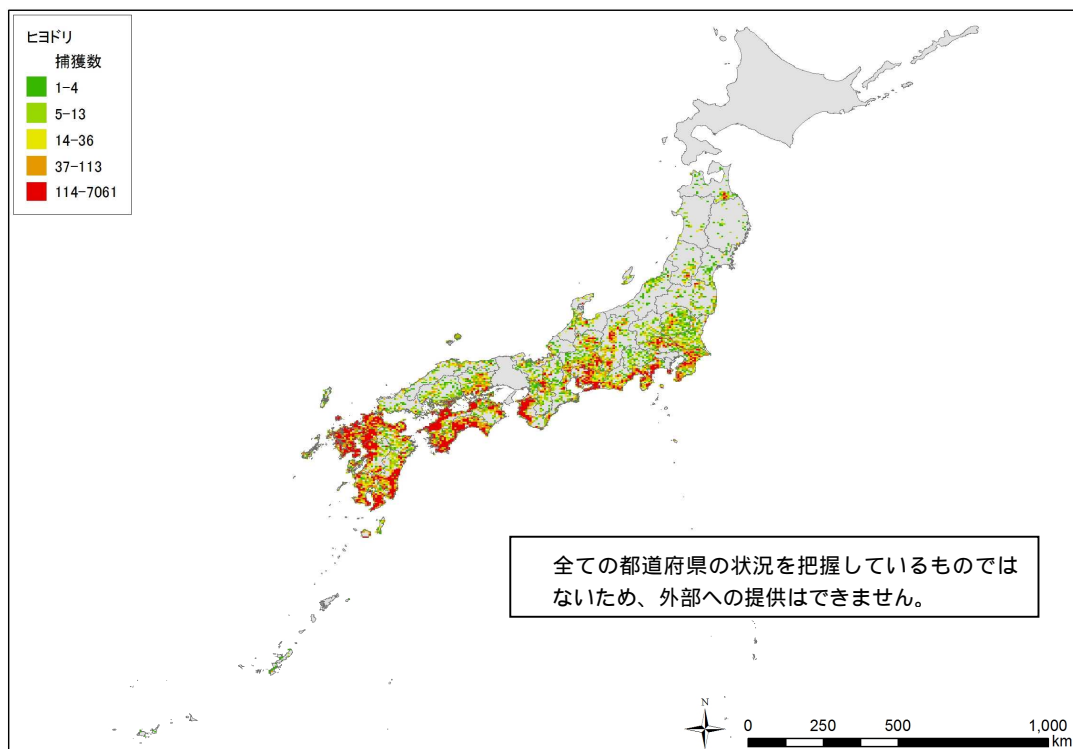
< 2 3 > ヒヨドリ (*Hypsipetes amaurotis*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：東京都（小笠原：留意種（亜種オガサワラヒヨドリ））・沖縄県（LP（亜種ダイトウヒヨドリ））

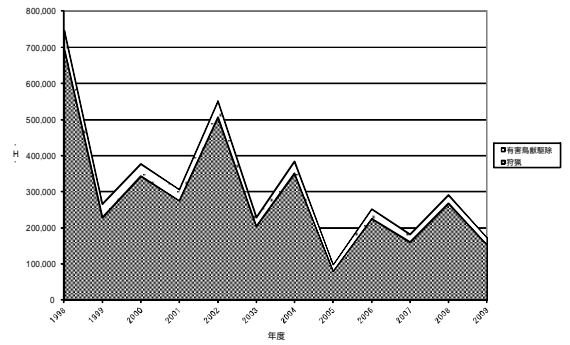
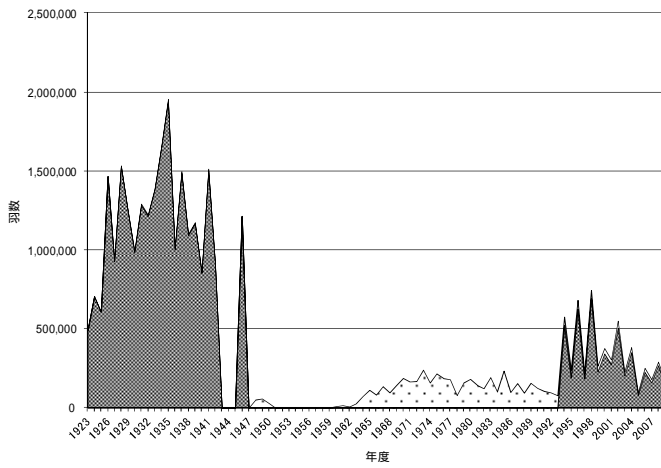
【生息状況等】全国に分布。北海道や山地のものは、暖地に移動して越冬する。



第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(ヒヨドリ)

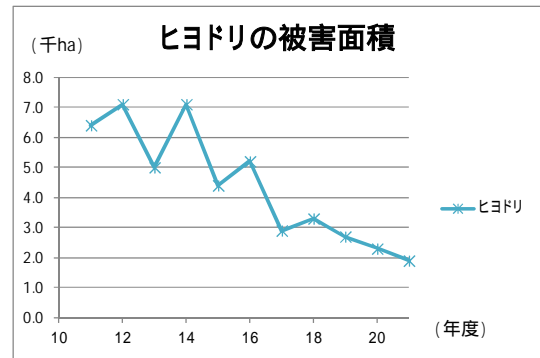
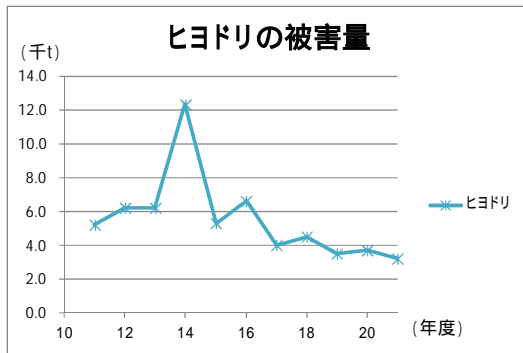


野生鳥獣情報システム(WIS)によるヒヨドリの捕獲状況



ヒヨドリの狩猟個体数と有害捕獲数の推移

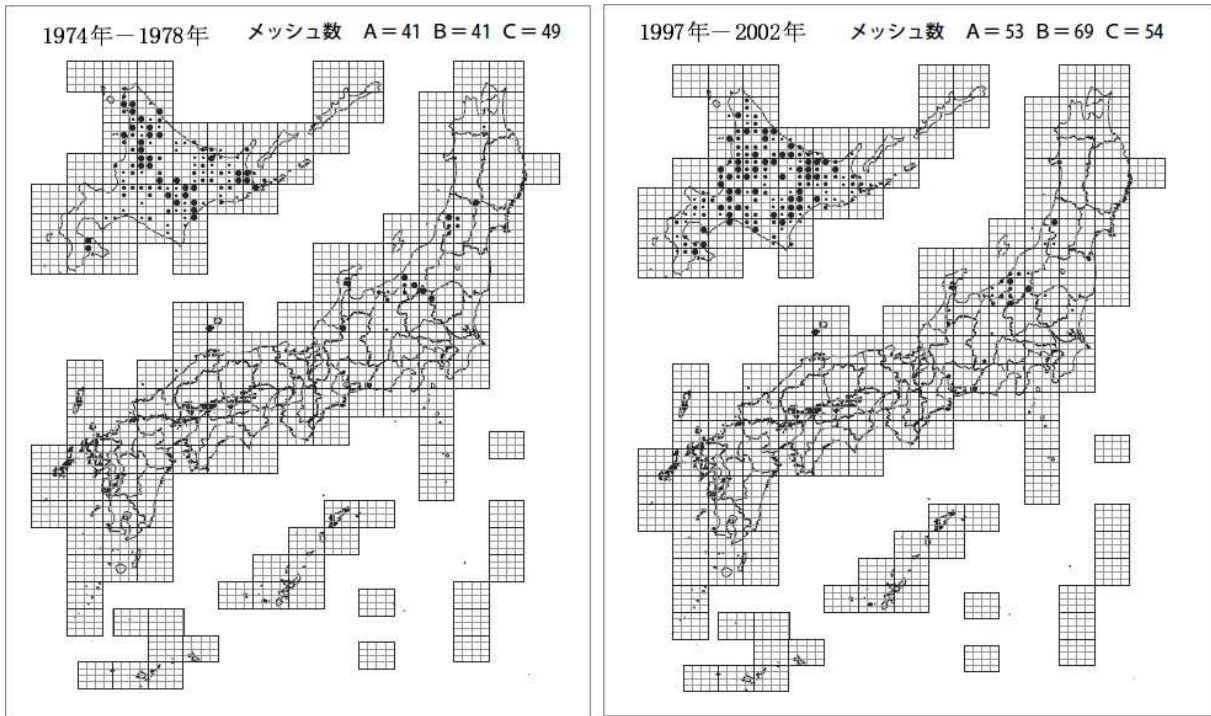
近年の推移



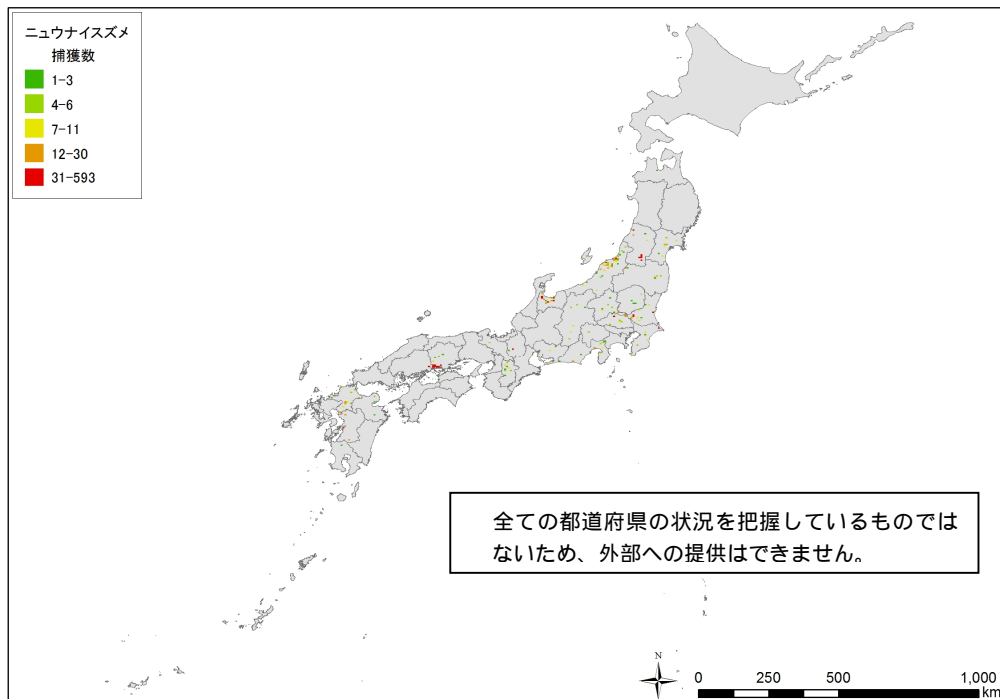
< 2 4 > ニュウナイスズメ (*Passer rutilans*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：栃木県 (C)・群馬県 (DD)・埼玉県 (VU)・神奈川県 (絶滅危惧 類)・滋賀県 (希少種)・大阪府 (準絶滅危惧)・福岡県 (準絶滅危惧)

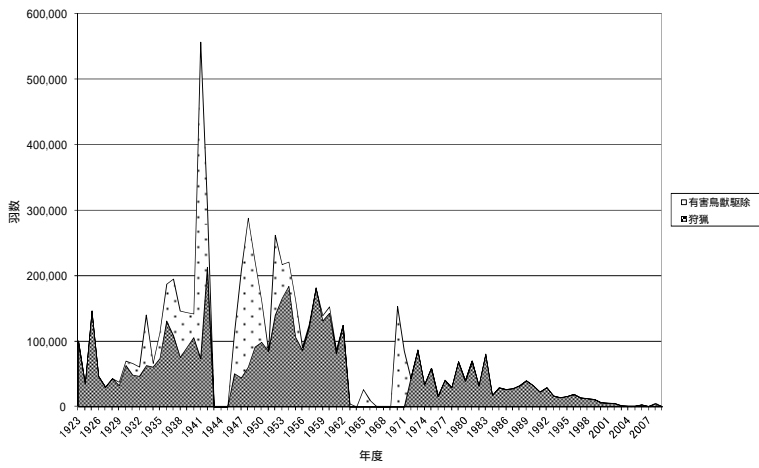
【生息状況等】本州中部以北の多雪地帯で繁殖し、冬は温暖な西日本に移動する。



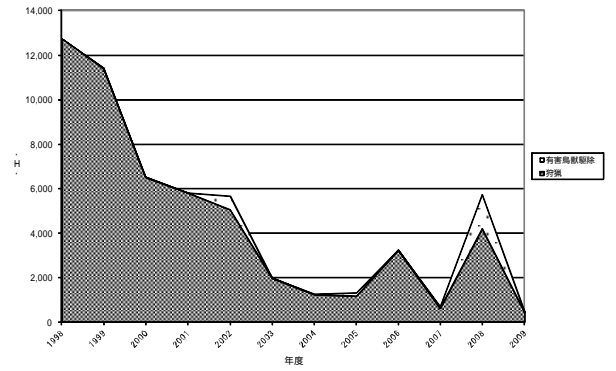
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(ニュウナイスズメ)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるニュウナイスズメの捕獲状況



ニュウナイスズメの狩猟個体数と有害捕獲数の推移

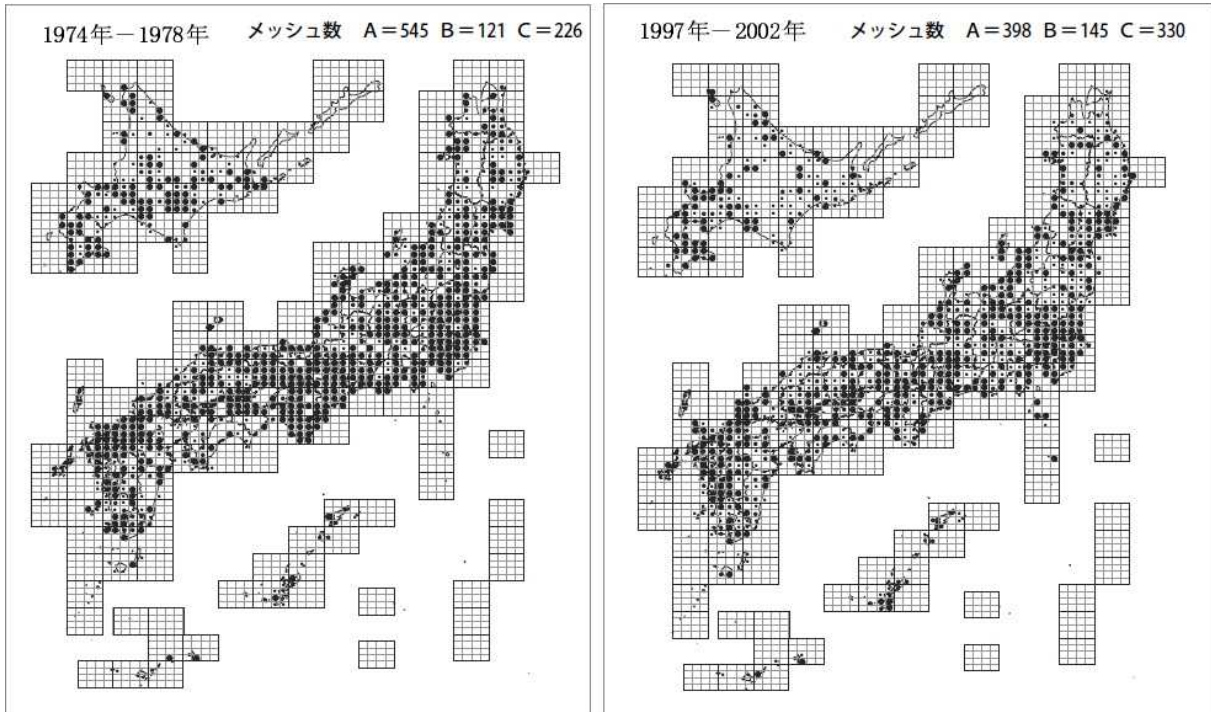


近年の推移

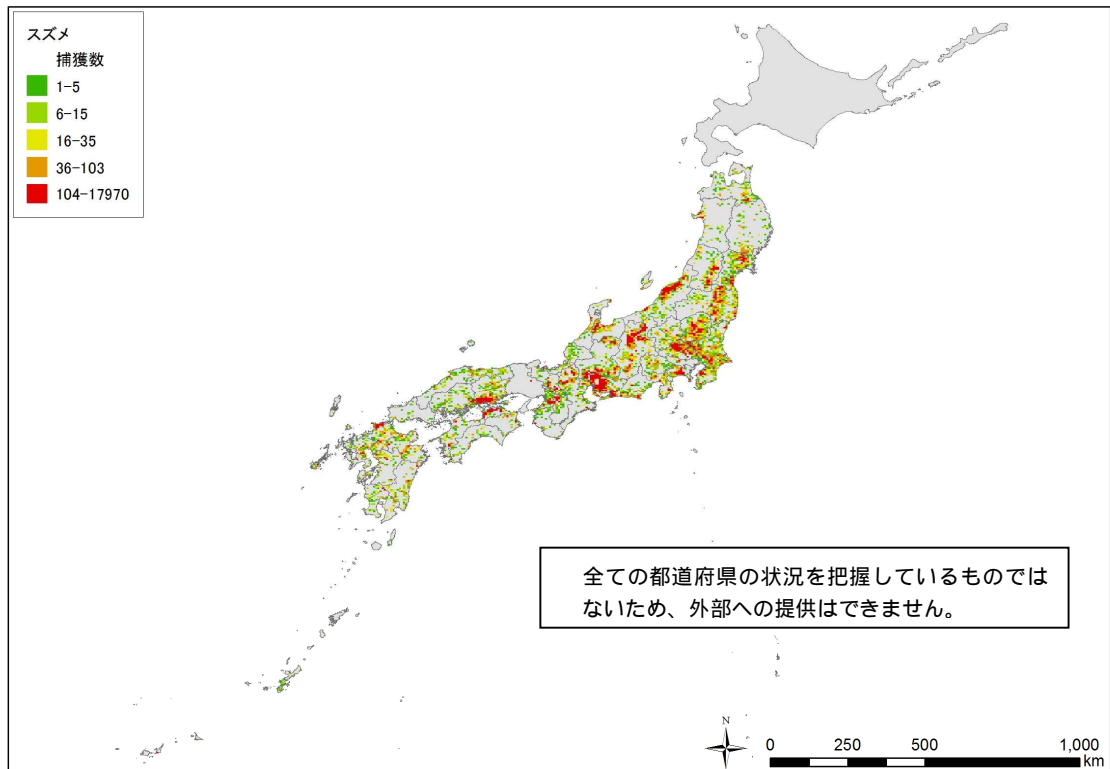
< 25 > スズメ (*Passer montanus*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県： -

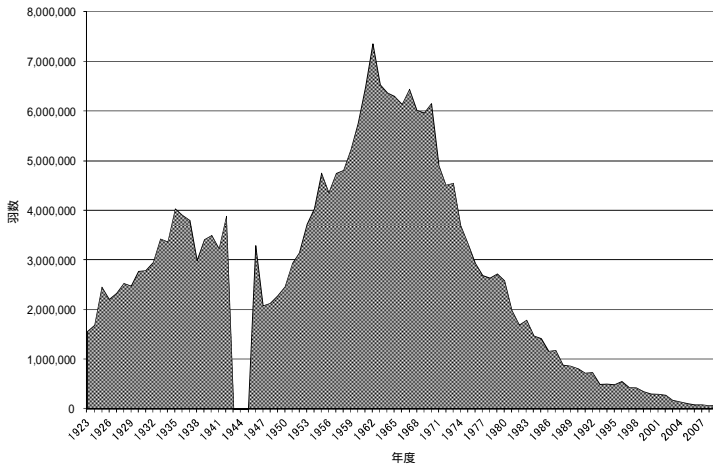
【生息状況等】小笠原諸島を除く全国に留鳥として生息する。



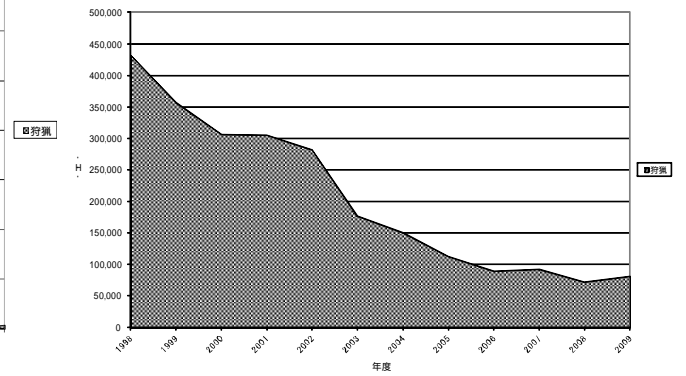
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(スズメ)



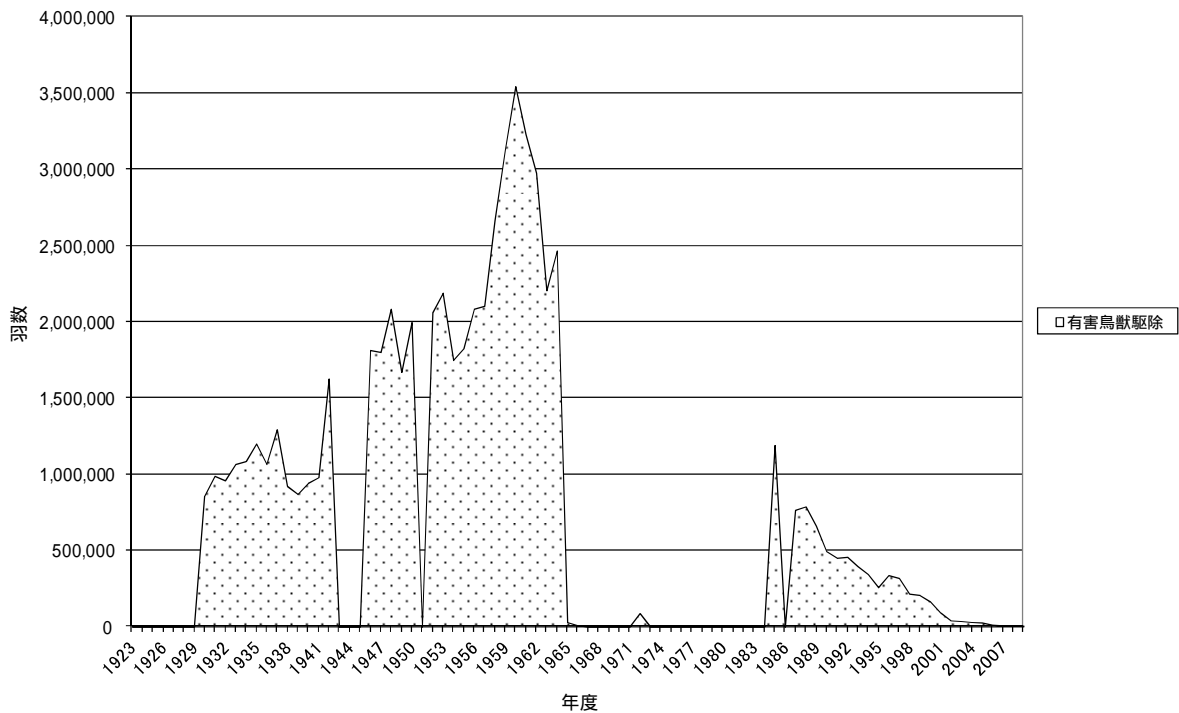
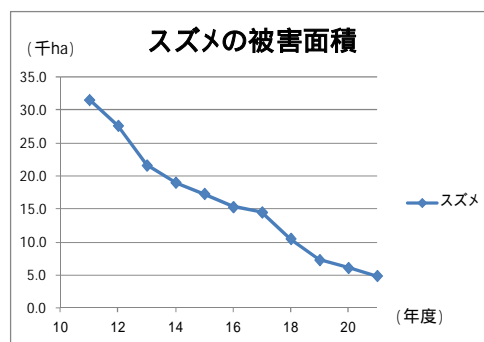
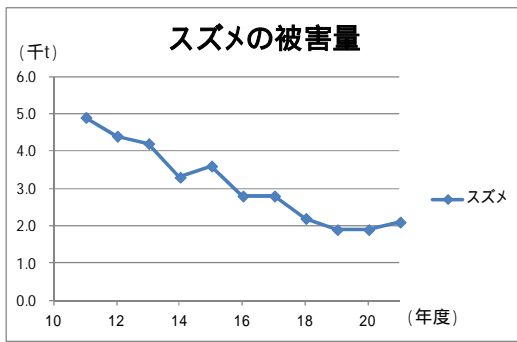
野生鳥獣情報システム(WIS)によるスズメの捕獲状況



スズメの狩猟個体数の推移



近年の推移

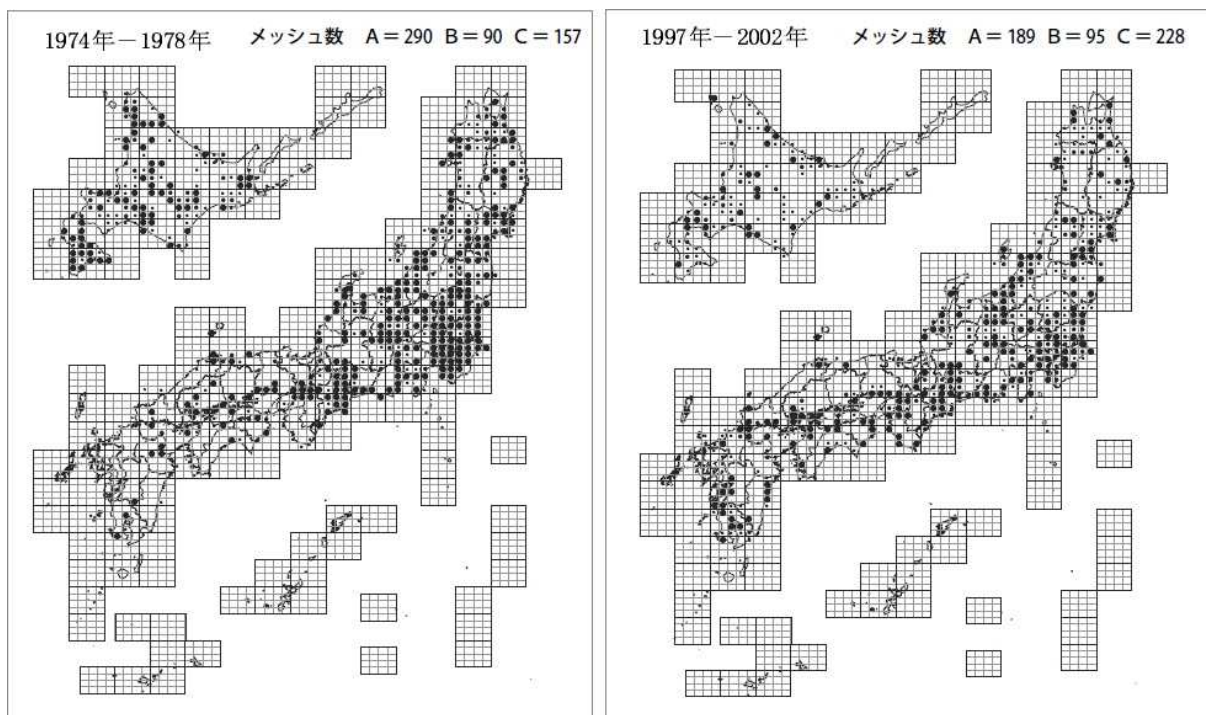


スズメ類の有害捕獲数の推移

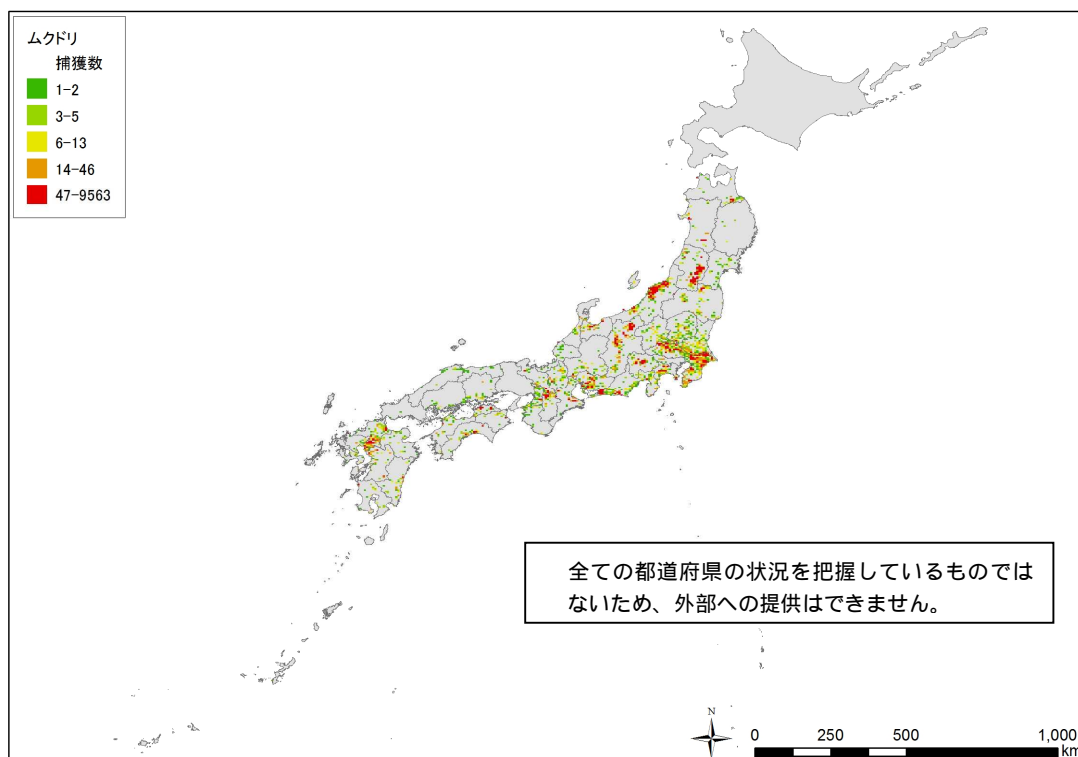
< 26 > ムクドリ (*Sturnus cineraceus*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県： -

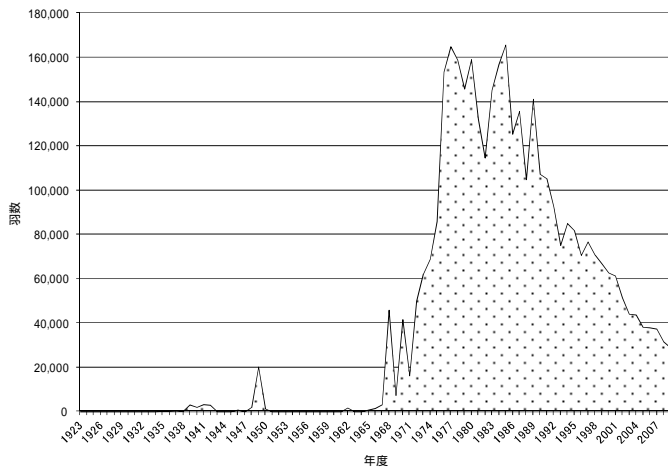
【生息状況等】九州以北で留鳥または漂鳥として繁殖する。



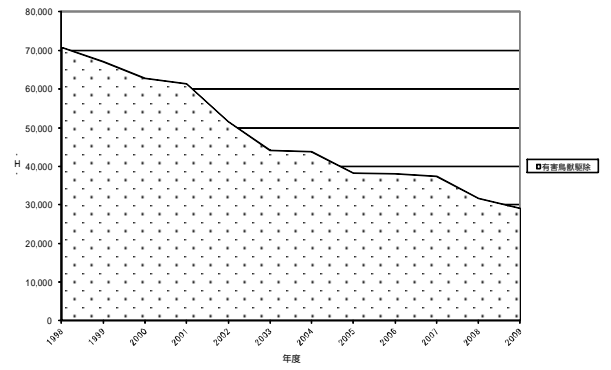
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(ムクドリ)



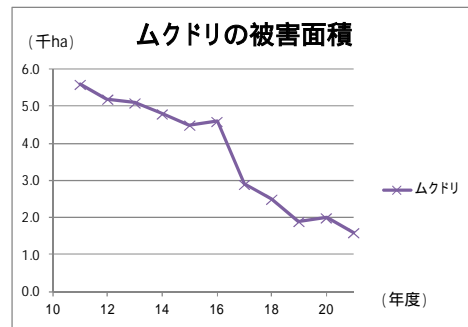
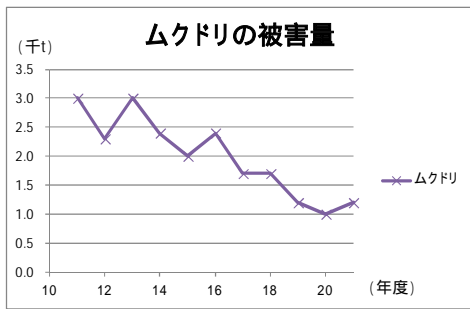
野生鳥獣情報システム(WIS)によるムクドリの捕獲状況



ムクドリの有害捕獲数の推移



近年の推移



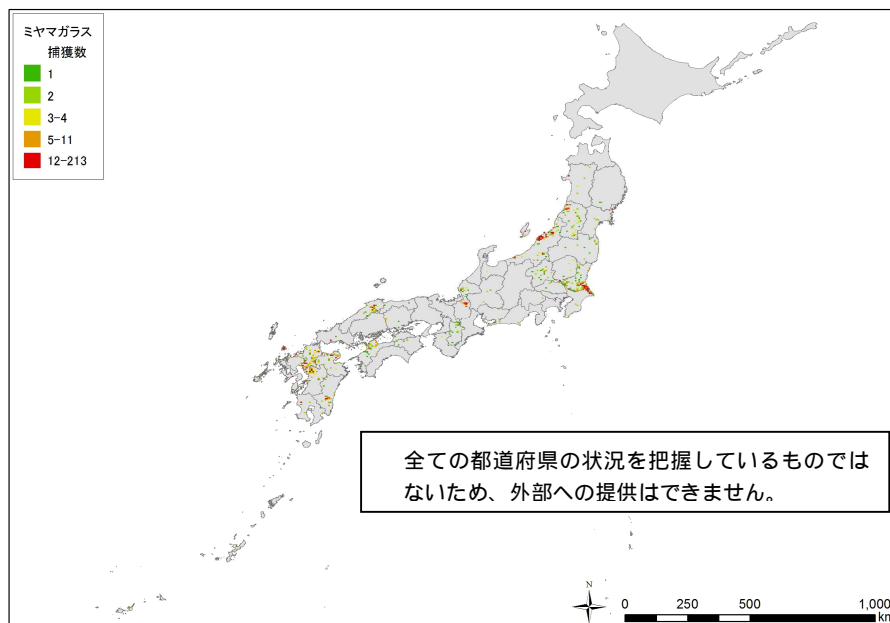
< 27 > ミヤマガラス (*Corvus frugilegus*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：大阪府（準絶滅危惧）

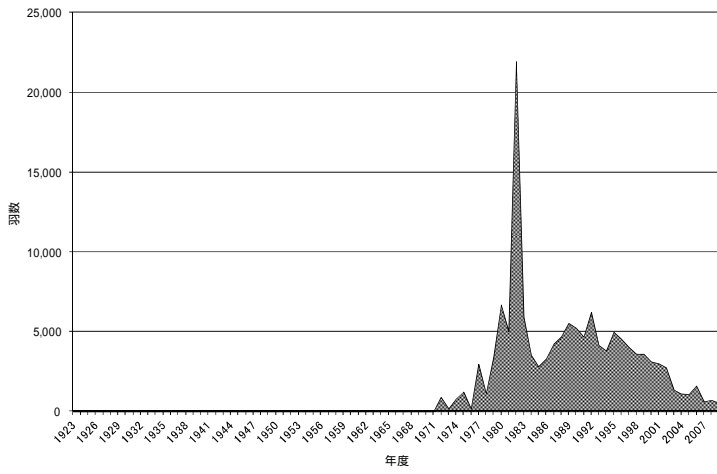
【生息状況等】冬鳥としておもに九州に渡来する。



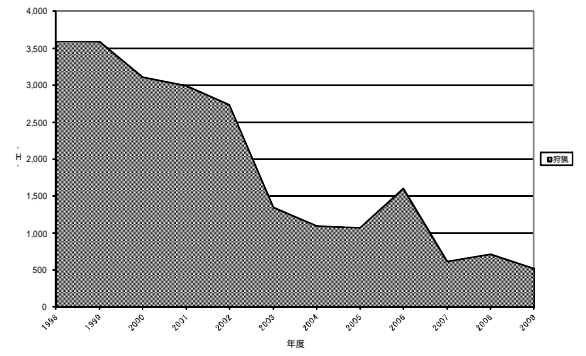
第3回基礎調査分布図(ミヤマガラス)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるミヤマガラスの捕獲状況



ミヤマガラスの狩猟個体数の推移

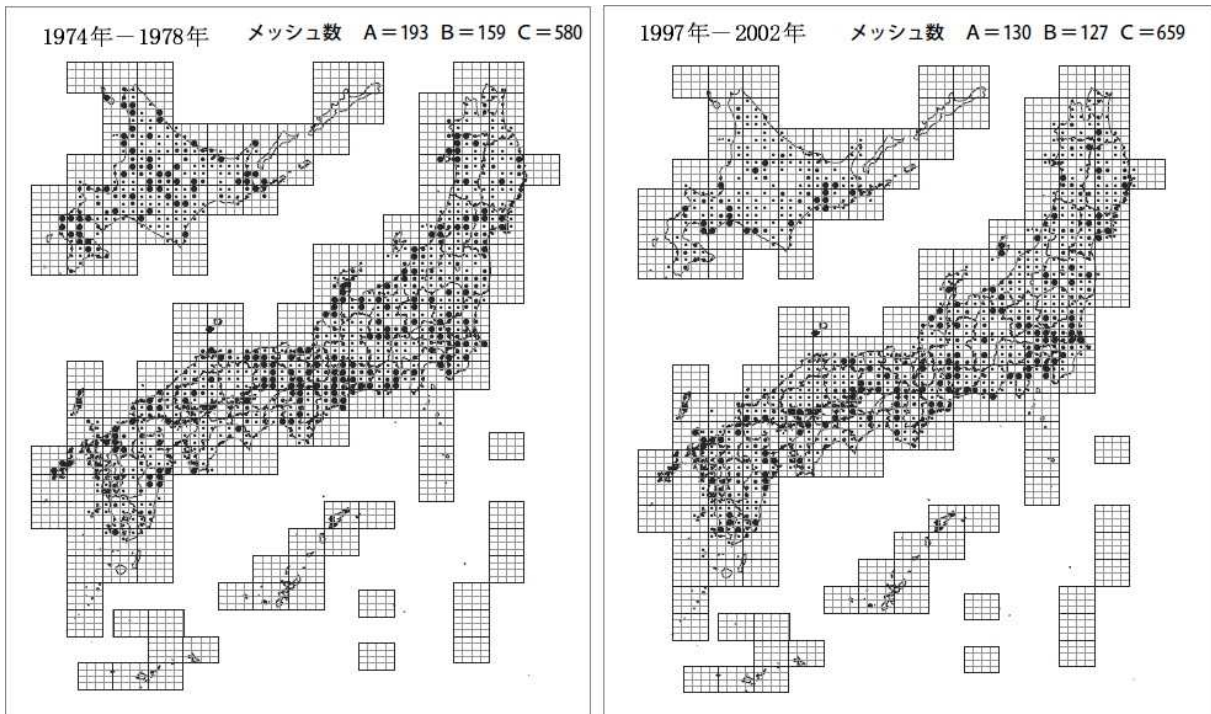


近年の推移

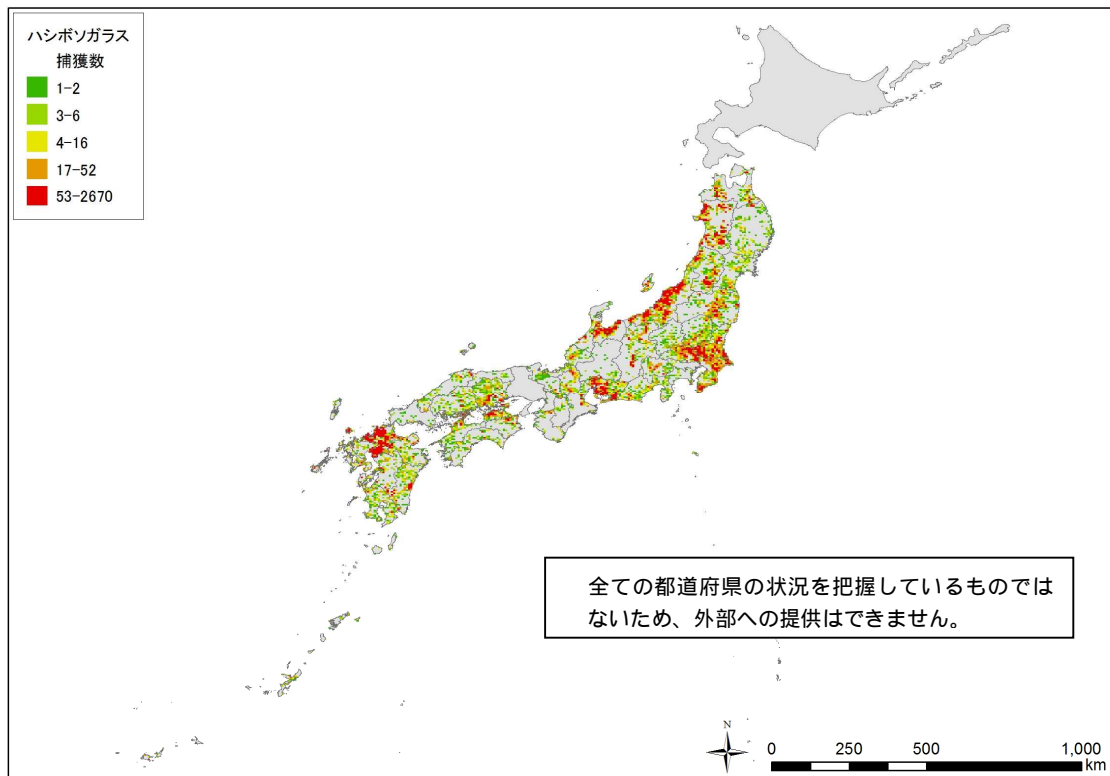
< 28 > ハシボソガラス (*Corvus corone*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県： -

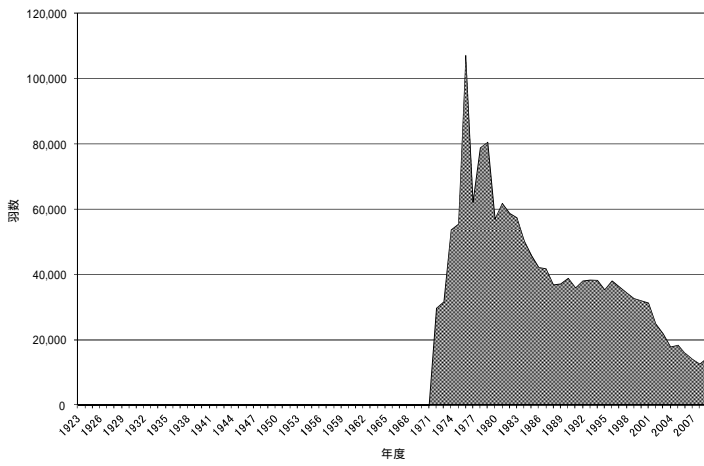
【生息状況等】九州以北に留鳥として分布するが、沖縄では冬鳥で数も少ない。



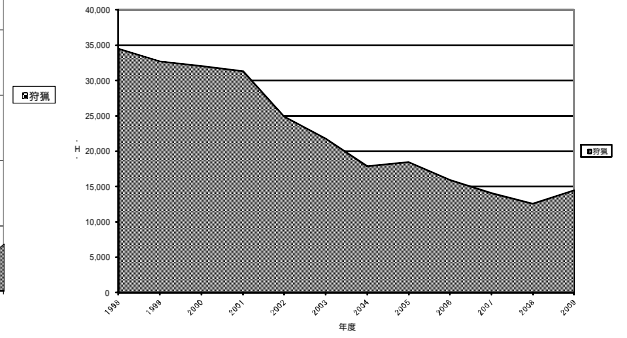
第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右)分布図(ハシボソガラス)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるハシボソガラスの捕獲状況



ハシボソガラスの狩猟個体数の推移

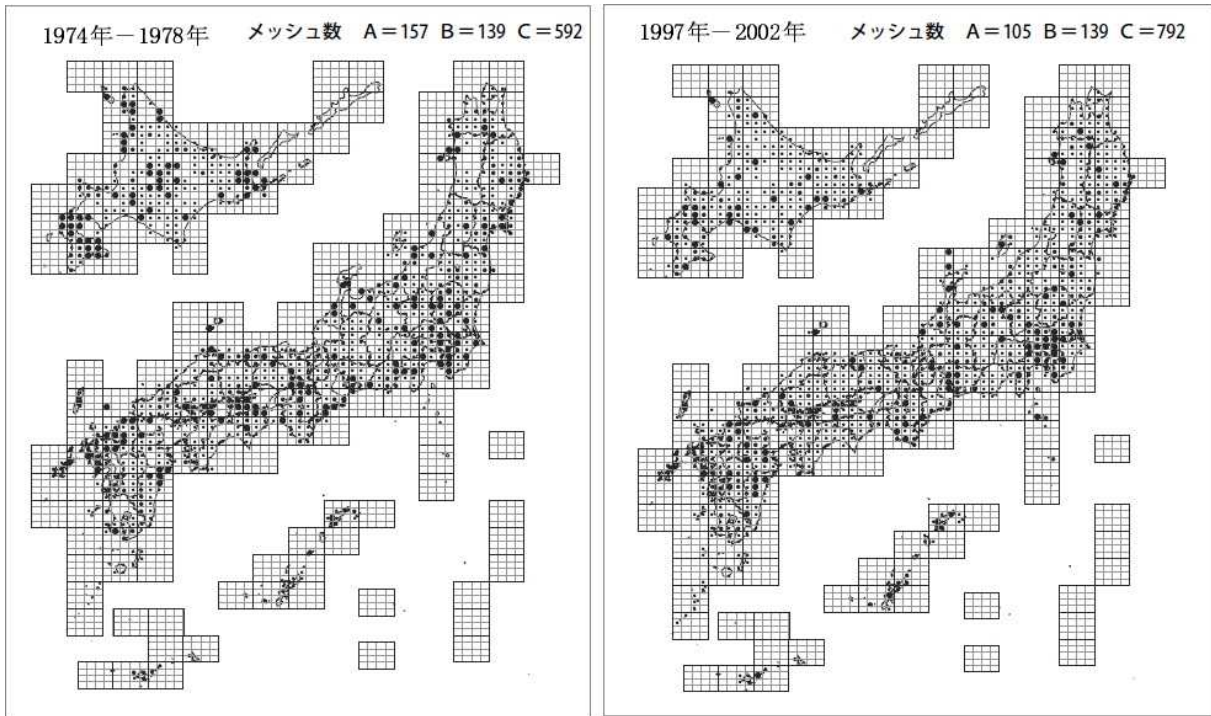


近年の推移

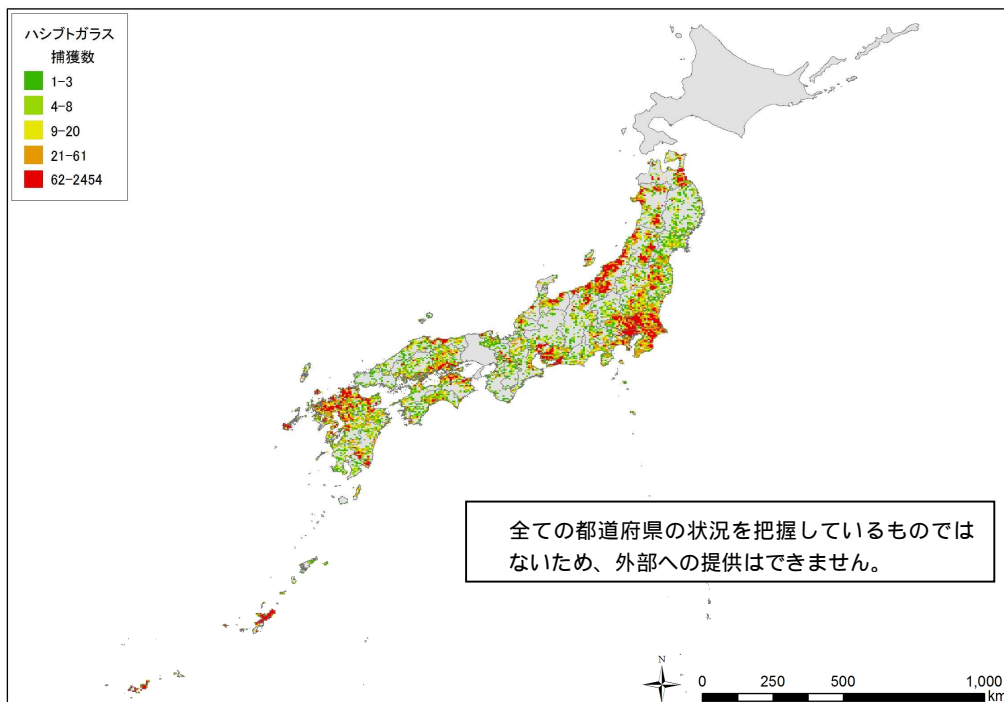
< 29 > ハシブトガラス (*Corvus macrorhynchos*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：東京都（小笠原：EX）・長崎県（LP（亜種チョウセンハシブトガラス））

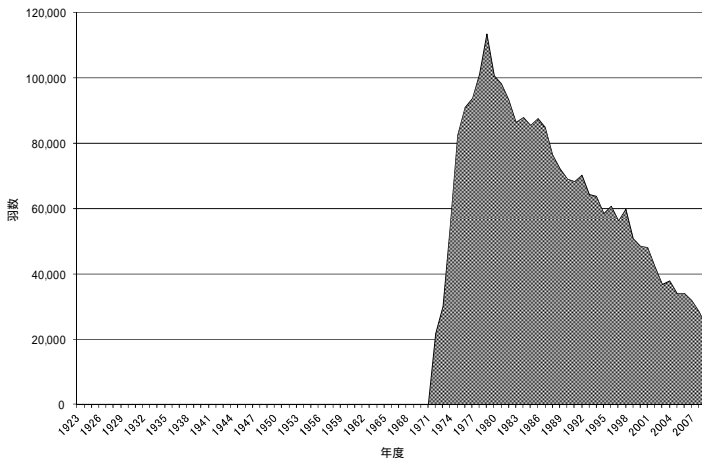
【生息状況等】全国に留鳥として生息。



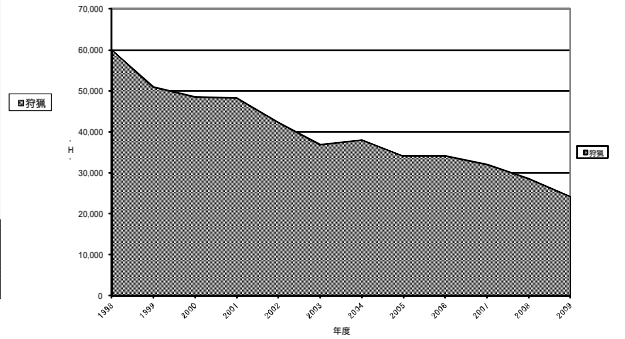
第6回基礎調査(左)及び第3回基礎調査(右)分布図(ハシブトガラス)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるハシブトガラスの捕獲状況

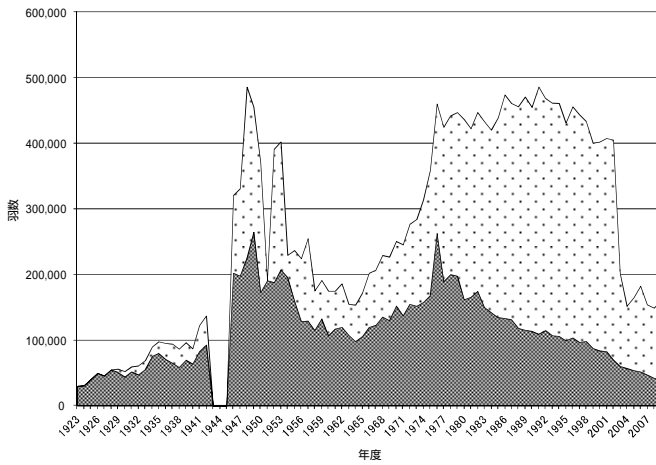


ハシトガラスの狩猟個体数の推移

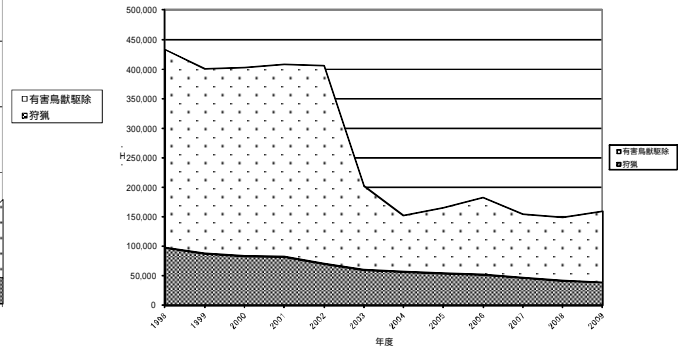


近年の推移

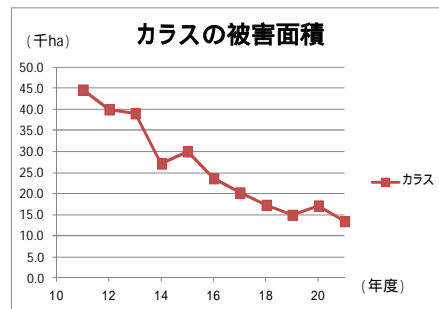
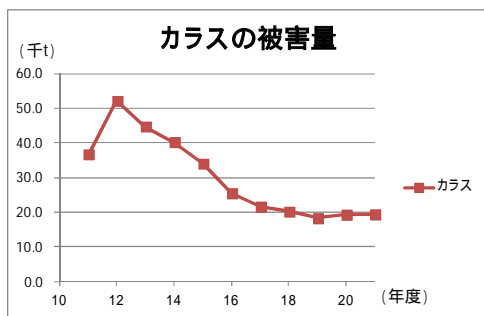
<参考> カラス類



カラス類の狩猟個体数と有害捕獲数の推移



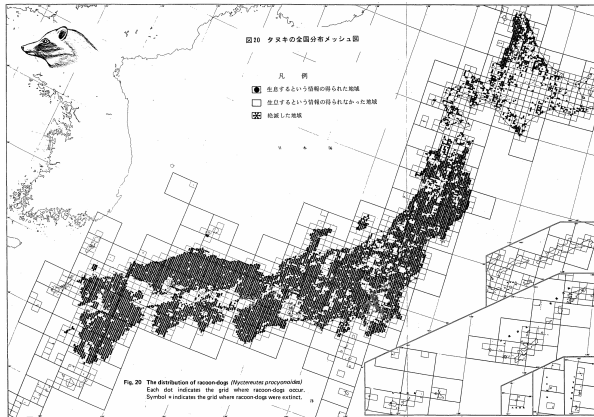
近年の推移



< 1 > タヌキ (*Nyctereutes procyonoides*)

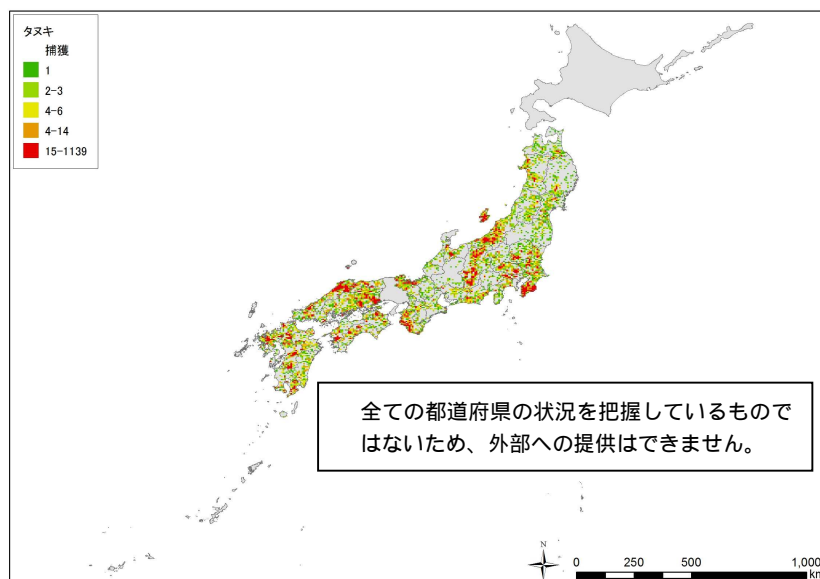
【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：埼玉県 (RT)・鹿児島県 (分布特性上重要)

【生息状況等】第6回自然環境保全基礎調査によれば、島嶼を除けば北海道の一部に分布の空白域があるのみで、ほぼ全国的に分布している状況で、全国での生息区画数 (5km メッシュ) は 11,476 メッシュと多かった。1978 年と比較すると 1.1 倍と微増している状況であった。

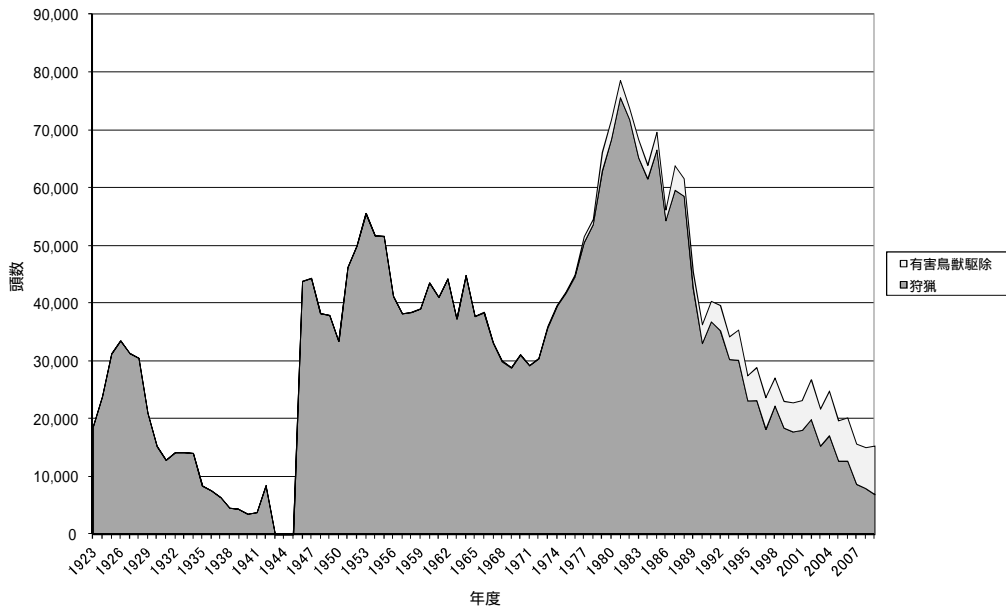


タヌキの分布

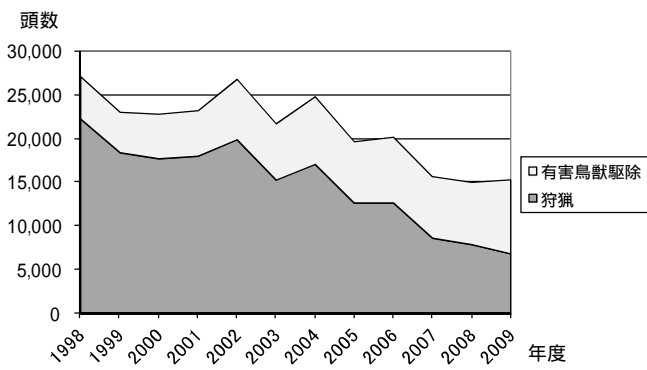
(第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右))



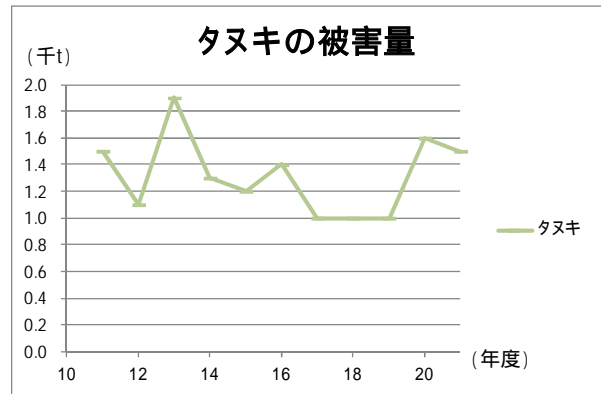
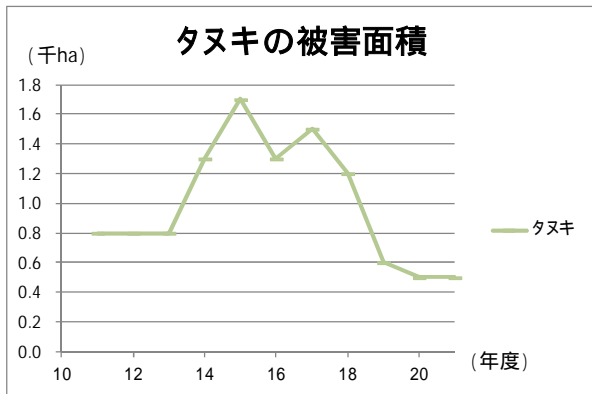
野生鳥獣情報システム (WIS) によるタヌキの捕獲状況



タヌキの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



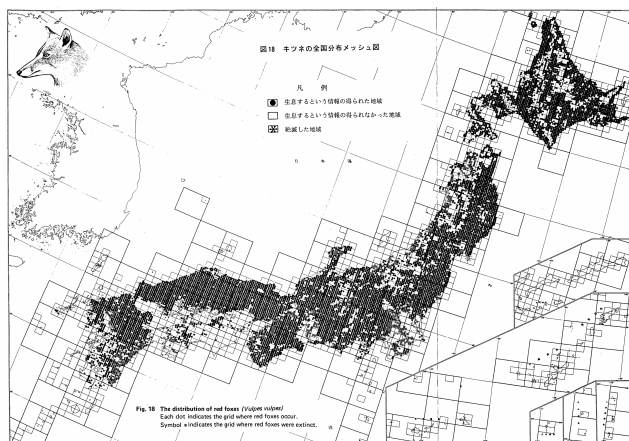
近年の推移



< 2 > キツネ (*Vulpes vulpes*)

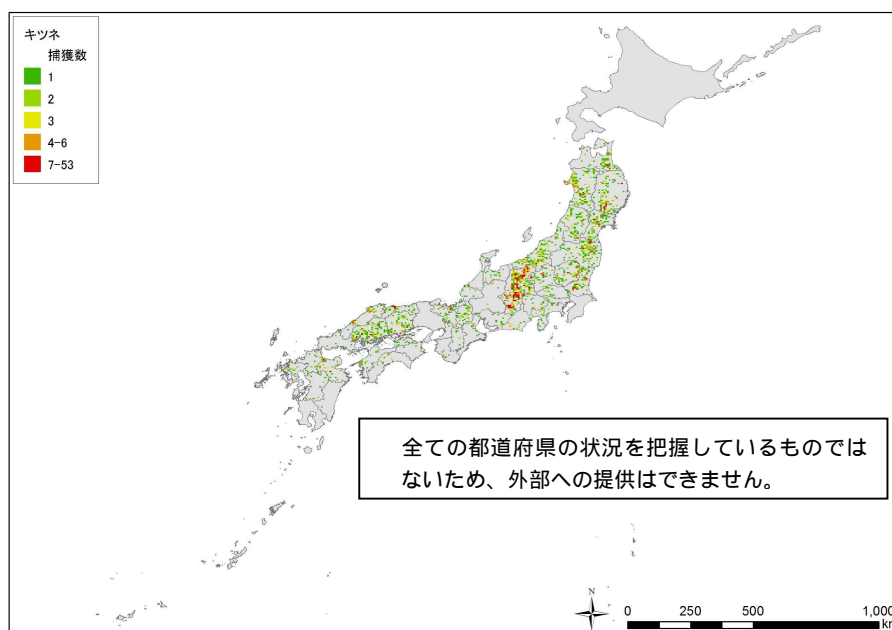
【レッドデータブック】環境省： - 都道府県：秋田県 (N)・埼玉県 (RT)・千葉県 (B)・東京都 (区部：EX、北多摩：EN)・神奈川県 (準絶滅危惧)・大阪府 (準絶滅危惧)・福岡県 (準絶滅危惧)・長崎県 (NT)・鹿児島県 (絶滅危惧 類)

【生息状況等】第6回自然環境保全基礎調査によれば、ほぼ全国的に広く分布している。全国での生息区画数 (5km メッシュ) は 11,668 メッシュと多かった。1978 年と比較すると 1.2 倍と微増している状況であった。

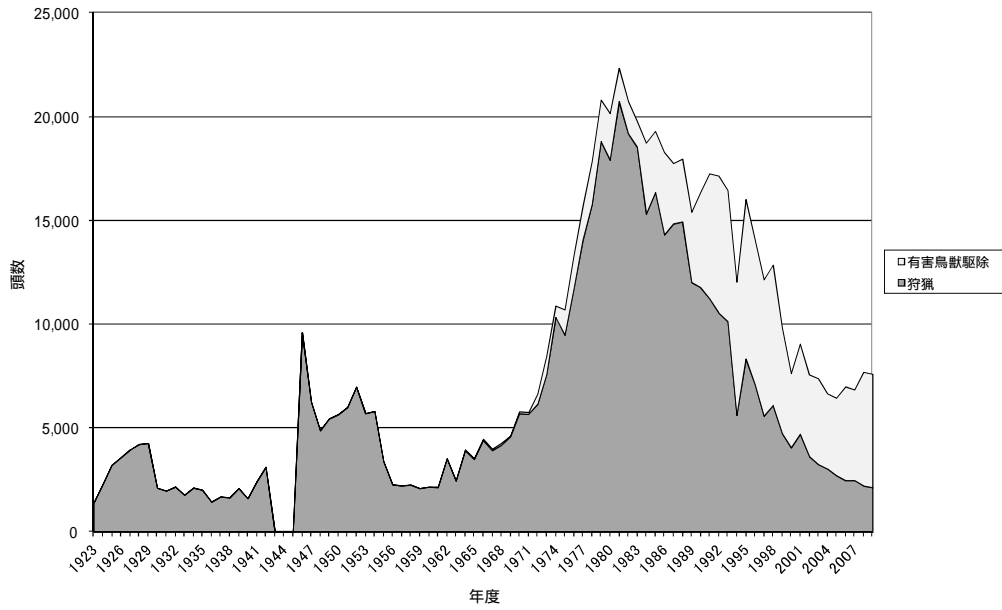


キツネの分布

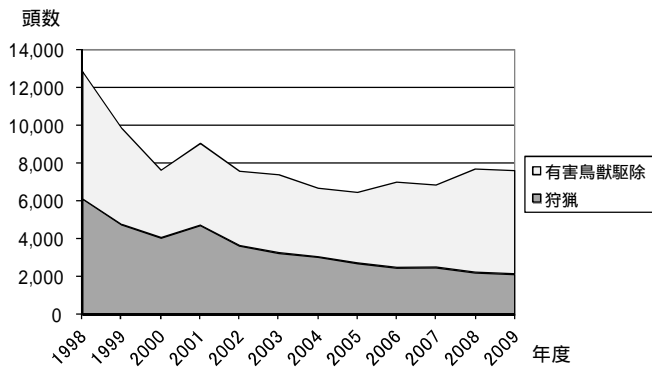
(第2回基礎調査(左)及び第6回基礎調査(右))



野生鳥獣情報システム(WIS)によるキツネの捕獲状況



キツネの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

有害鳥獣捕獲における全国と北海道の比較

年度	全国		北海道	
	有害(頭)	狩猟(頭)	有害(頭)	狩猟(頭)
1998	6754	6104	6565	223
1999	5090	4747	4882	1881
2000	3571	4062	3347	1580
2001	4340	4711	4060	2060
2002	3938	3638	3658	1255
2003	4127	3255	3834	1233
2004	3624	3044	3411	947
2005	3729	2731	3553	1082
2006	4513	2489	4326	868
2007	4361	2486	4233	868
2008	5464	2225	5275	1012
2009	5459	2141	5268	935

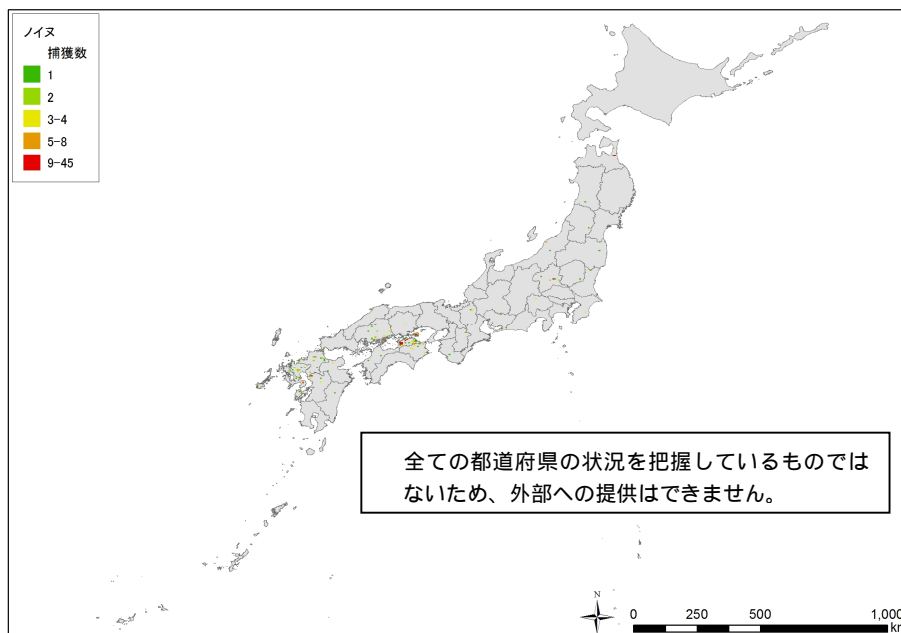
< 3 > ノイヌ (*Canis familiaris*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県： -

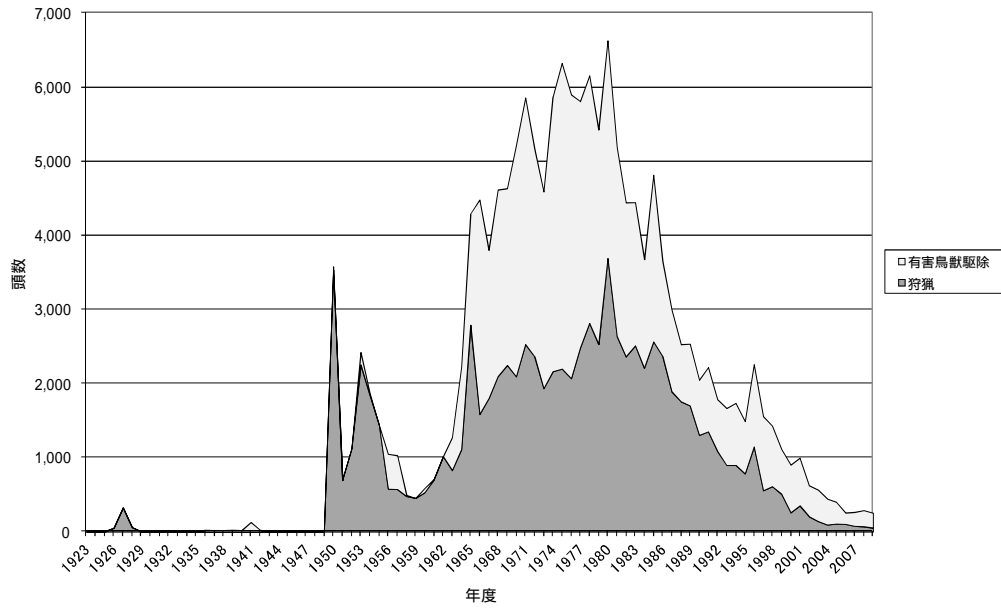
【生息状況等】分布情報が不足しているためか、分布を正確に読み取ることができないが、東北の日本海側を除き、ほぼ全国的に分布が確認できる。



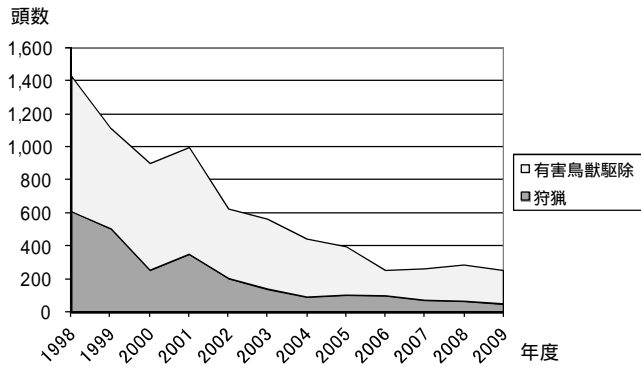
ノイヌの分布 (第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム (WIS) によるノイヌの捕獲状況



ノイヌの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

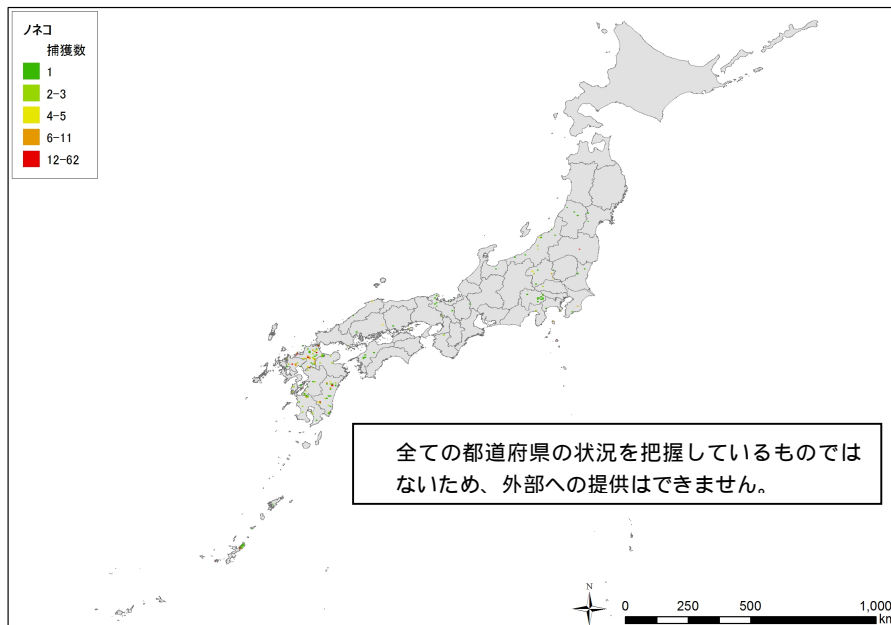
< 4 > ノネコ (*Felis catus*)

【レッドデータブック】環境省： - 都道府県： -

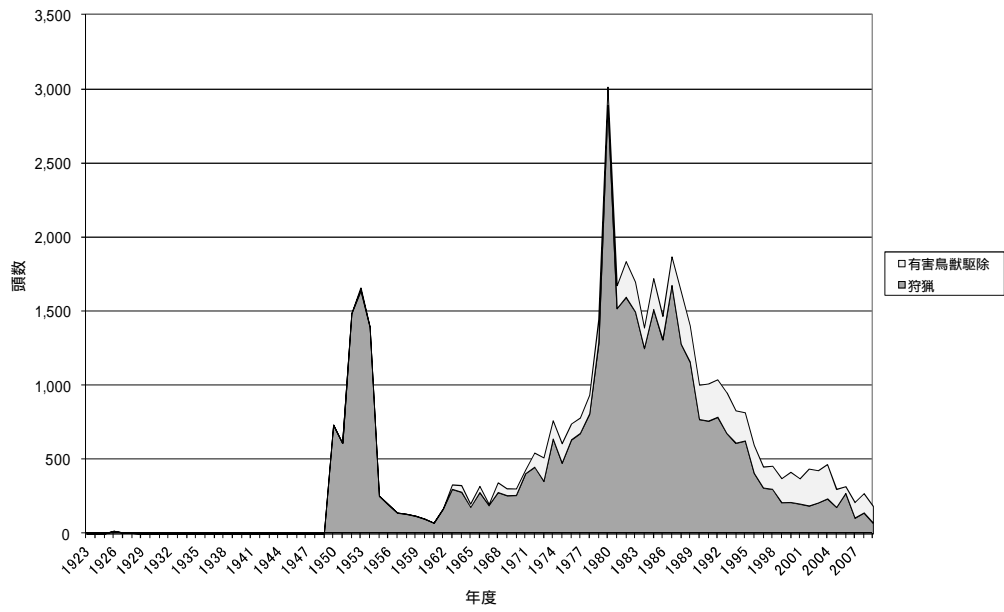
【生息状況等】分布情報が不足しているためか、分布を正確に読み取ることができないが、東北の一部を除き、ほぼ全国的に分布が確認できる。



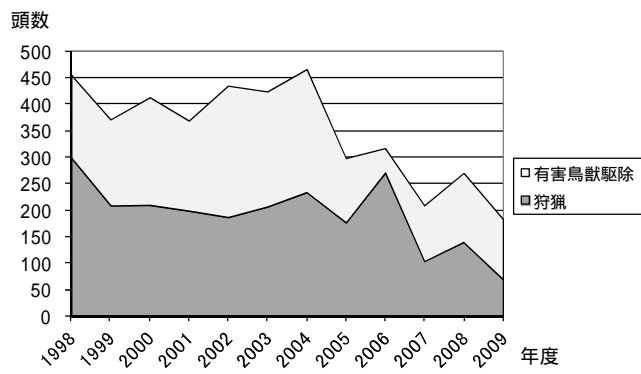
ノネコの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるノネコの捕獲状況



ノネコの狩猟個体数と有害鳥獣捕獲数の推移



近年の推移

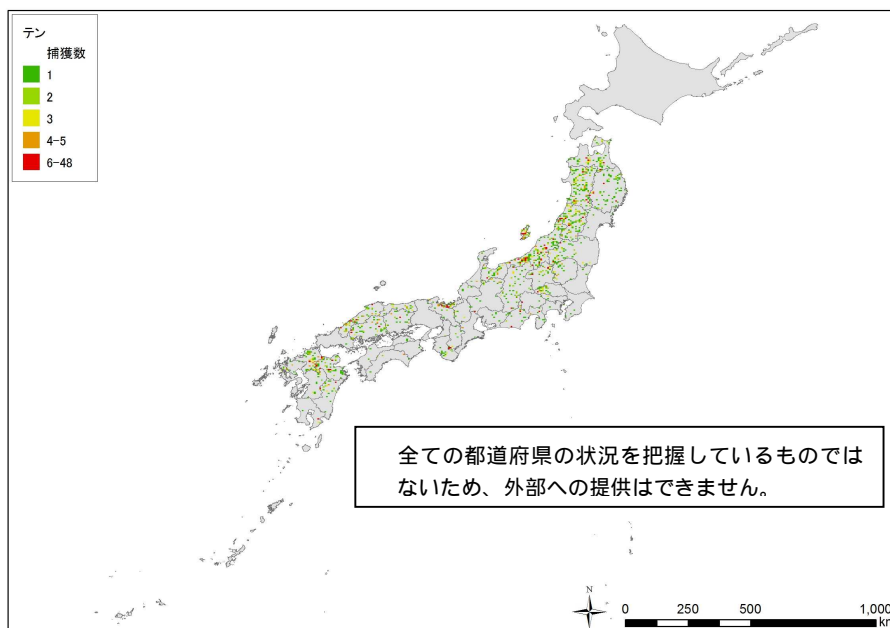
< 5 > テン (*Martes melampus*)

【レッドデータブック】環境省：NT (亜種ツシマテンはNTであるが、ツシマテンは狩猟獣から除かれている) 都道府県：群馬県 (準絶滅危惧)・埼玉県 (RT)・千葉県 (D)・東京都 (区部：EX)・愛知県 (NT)・鹿児島県 (分布特性上重要)

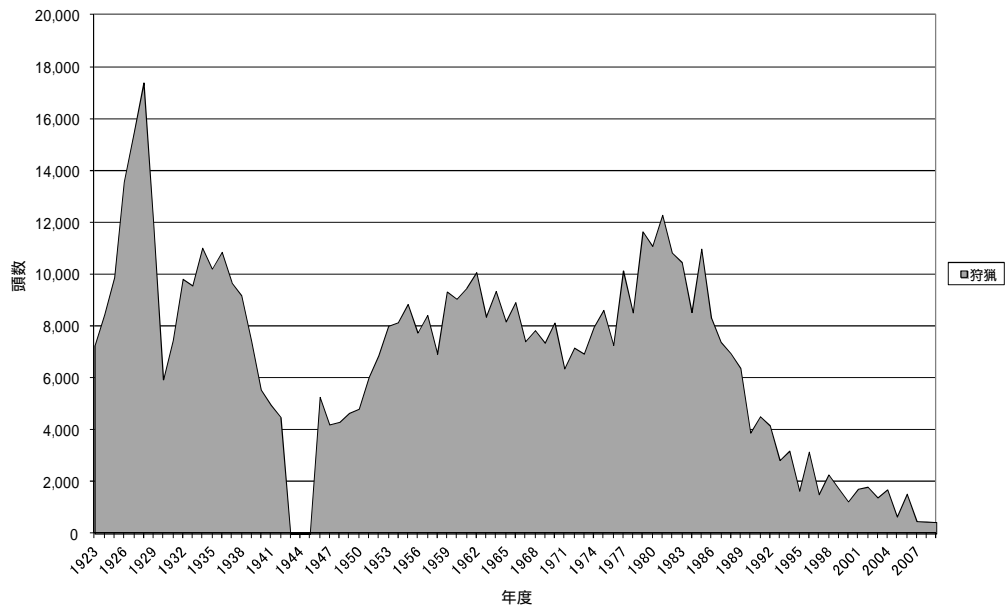
【生息状況等】北海道や関東地方の平野部などでは疎であるが、ほぼ全国的に分布が見られる。



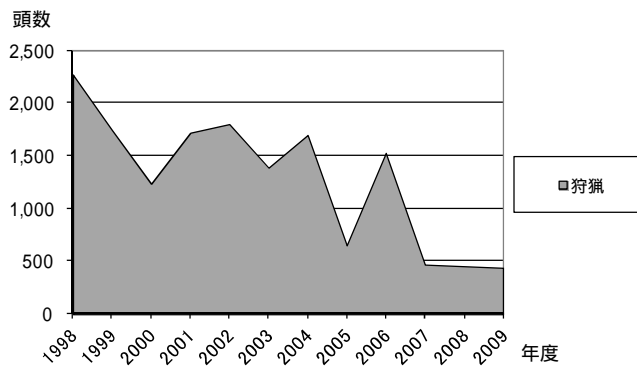
テンの分布(第6回基礎調査)



野生鳥獣情報システム(WIS)によるテンの捕獲状況



テンの狩猟個体数の推移



近年の推移